

鉄鋼需給の動き

2022年1月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響等から持ち直しの動きが続いているものの、足元、新規感染者数が拡大しており、先行き不透明な状況となっている。12月13日に公表された12月日銀短観(以下、短観)では、大企業・非製造業の業況判断指数(DI)が前回(9月)から改善した一方、供給制約や原材料価格の高騰のなか、大企業・製造業は横ばいに止まり、先行きも製造業・非製造業で悪化を見込んでいる。このほか足元の指標を見ると、供給面では、供給不足の緩和から自動車生産が改善していること等を受け、11月の鉱工業生産指数は2ヵ月連続の前月比増となった。需要面を見ると、小売販売額(11月)が3ヵ月連続で増加、設備投資の先行指標となる機械受注(11月)が前月比で2ヵ月連続で増加するなど、持ち直しの動きが続いている。また11月の輸出数量指数は、自動車生産の持ち直しもあって前月比で2ヵ月連続の増加となった。

海外経済は多くの国・地域で回復基調にあるが、感染症の再拡大から先行き不透明感を強めている。米国は堅調な内需を背景に総じて回復し、下押し要因となっている供給制約にも緩和の兆しがみられる。一方で、感染再拡大の影響や12月の消費者物価指数が7.0%となり、1982年6月以来の高水準となるなどインフレ圧力が懸念される。中国では、底堅い生産活動や好調な輸出等により経済は緩やかに拡大しているが、不動産市場の低迷や固定資産投資の減速等、内需関連の一部指標に弱さが見られる。欧州では、供給制約が回復の足枷となり続けている状況下、感染症の再拡大により行動制限を強める国も出ており、回復の勢いが一段と弱まる懸念がある。

国内鉄鋼市場は一部に不安が見られるも、総じて緩やかな改善が見られる。需要産業を見ると、建築部門では11月の新設住宅着工戸数、非住宅着工床面積がともに前年比で増加となっている。製造業を見ると、産業機械部門では、内外需要の回復により11月の生産用機械や汎用・業務用機械生産が前年同月比でともに10ヵ月連続の増加となっている。一方、自動車部門では、11月の四輪車生産は前年同月比3.3%減の4ヵ月連続の減少と前年割れが続いているが、減少幅は縮小しており、半導体や部品の調達状況の改善が窺われる。このような状況のなか、12月の国内鉄鋼関連指標をみると、粗鋼生産(前年同月比5.4%増・793万トン)、普通鋼鋼材生産(同7.0%増・531万トン)と10ヵ月連続、11月の普通鋼国内向け出荷(同7.8%増・358万トン)は9ヵ月連続の前年同月比増加となった。

海外鉄鋼市場を見ると、11月の世界の粗鋼生産は前年同月比9.9%減の1億4,326万トンと4ヵ月連続の減少となった。なお中国では、政府による粗鋼生産前年比減の方針および一部の需要産業にて減速が見られること等から、12月は同6.8%減の8,619万トンと6ヵ月連続で前年割れが続いている。

当面の経済および鉄鋼需要の下振れリスクとして、感染症変異株の流行、グローバルサプライチェーンの混乱による原材料価格の高騰、石油・LNG価格の上昇に伴う電力コストの増加、半導体を中心とした部品供給不足による自動車をはじめとする産業全体への影響の長期化、米中貿易摩擦、中国経済の成長鈍化等が挙げられる。こうしたリスクを踏まえつつ、引き続き、国内外の経済動向及び鋼材需要の動向に注意を払う必要がある。

1.経済動向

- ・11月の鉱工業生産は前月比2ヵ月連続の上昇。基調判断は「生産は持ち直しの動きがみられる」に上方修正。先行きは12月、1月共上昇。
- ・11月の機械受注は前月比3.4%増と2ヵ月連続の増加。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に上方修正。
- ・12月の乗用車販売は前年同月比で6ヵ月連続の減少。普通車、小型車、軽が減少。2021暦年の国内販売(輸入車除く)は前年比4.1%減の410万台(3年連続のマイナス)。
- ・11月の小売販売額(速報)は前年同月比1.9%増と2ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比1.3%減と4ヵ月連続の減少。
- ・11月の完全失業率は前月比0.1ポイント上昇の2.8%。有効求人倍率は前月から横ばいの1.15倍。
- ・12月の日銀短観・大企業製造業の業況判断指数は、+18と前回(9月)から横ばい。先行きは5ポイント低下の+13の見込み。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・**土木**:11月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比18.8%減と5ヵ月連続の減少、民間土木が同7.1%減と2ヵ月連続の減少。
- ・**建築**:11月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.7%増と9ヵ月連続の増加。非住宅着工床面積は同10.9%増と2ヵ月連続の増加。

(製造業部門)

- ・**自動車**:11月の四輪車生産(速報)は前年同月比3.3%減の75.6万台と4ヵ月連続のマイナス。
- ・**産業機械**:11月の生産用機械は前年同月比27.8%増、汎用・業務用機械は同5.9%増と、ともに10ヵ月連続の増加。
- ・**造船**:12月の輸出船契約量は前年同月比26.8%減の64万G/Tと3ヵ月ぶりの減少。2021暦年は前年比2.1倍の1,521万G/Tと3年ぶりの増加。同月末の手持工事量は1,871万G/Tと前月比で3ヵ月連続の増加。

3.鋼材受注

- ・**普通鋼**:11月の内需は前年同月比2.3%減の309万トンと3ヵ月連続の減少。
- ・**特殊鋼**:11月の内需は前年同月比2.9%減の96万トンと2ヵ月連続の減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・**粗鋼生産**:12月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比5.4%増の793万トンと10ヵ月連続の増加。2021暦年(速報)は、前年比15.8%増の9,633万トンと7年ぶりの増加。
- ・**鋼材生産**:12月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比7.0%増の531万トンと10ヵ月連続の増加。10月の特殊鋼鋼材生産は、同10.8%増の141万トンと10ヵ月連続の増加。
- ・**出荷**:11月の普通鋼鋼材国内向け出荷は354万トンと9ヵ月連続の増加。10月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は98万トンと11ヵ月連続の増加。
- ・**在庫**:11月末の普通鋼鋼材国内在庫は604万トンと前月末比4ヵ月連続の増加。10月末の特殊鋼鋼材在庫は200万トンと2ヵ月ぶりの増加。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・11月の鋼材輸入は42万トン、前年同月比9.2%増と2ヵ月ぶりの増加。

6.鉄鋼輸出

- ・12月の全鉄鋼輸出(速報)は前年同月比9.8%増の281万トンと8ヵ月連続の増加。2021暦年(同)は前年比7.0%増の3,440万トンと8年ぶりの増加。

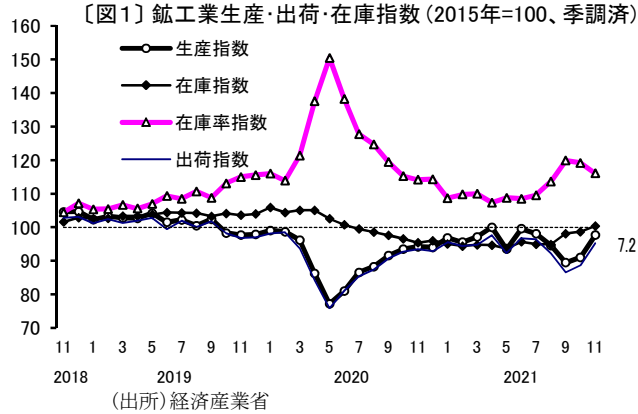
7.海外市場

- ・**世界粗鋼生産**:11月(worldsteel)は前年同月比9.9%減の1億4,330万トンと4ヵ月連続の減少。
- ・**中国**:2021年12月(国家統計局)の粗鋼生産は前年同月比6.8%減の8,619万トン。日産量は278万トン(6ヵ月連続の前年同月比減)。2021暦年は前年比3.0%減の10億3,279万トンと6年ぶりの減少。
12月の鋼材輸出は前年同月比3.6%増の503万トンと2ヵ月ぶりの増加。2021暦年は前年比24.6%増の6,690万トンと2年ぶりの増加。
12月の鋼材輸入は前年同月比27.2%減の100万トンと8ヵ月連続の減少。2021暦年は1,427万トンと前年比29.5%の減少。

1. 経済動向 —11月の鉱工業生産は2か月連続の上昇、先行きは12月、1月はともに上昇の見込み—

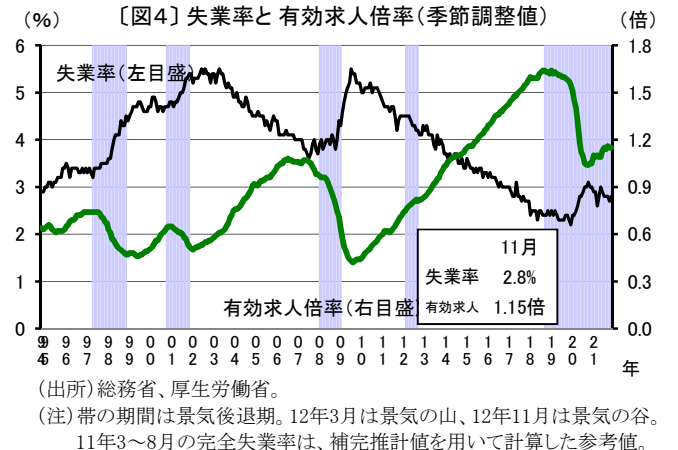
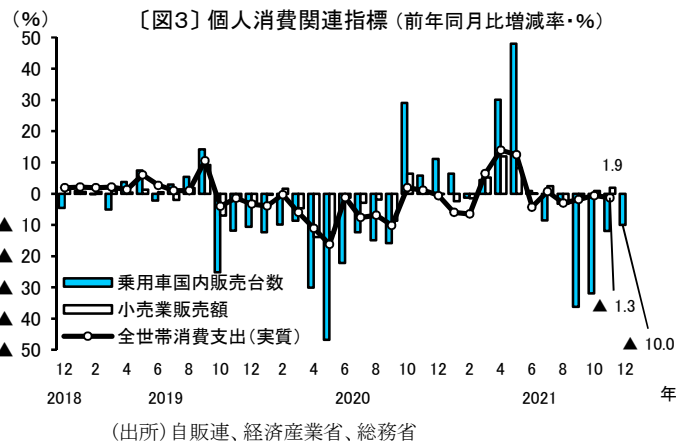
・11月の鉱工業生産は、前月比7.2%増の97.7と、2か月連続の上昇となった。業種別にみると、自動車工業、プラスチック製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業等が上昇し、無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業等が低下した。
 ・出荷(95.3)は7.4%、在庫(100.4)は1.7%と上昇、在庫率(116.1)は2.6%減と下降した。

・11月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比3.4%増の9,003億円と2か月連続の増加。内訳は、製造業(同12.9%増)は造船業、窯業・土石製品等の増加により2か月ぶりの増加、非製造業(同0.8%減)は運輸業・郵便業、電力業の減少により2か月ぶりの減少となった。基調判断は、「持ち直しの動きがみられる」に上方修正。



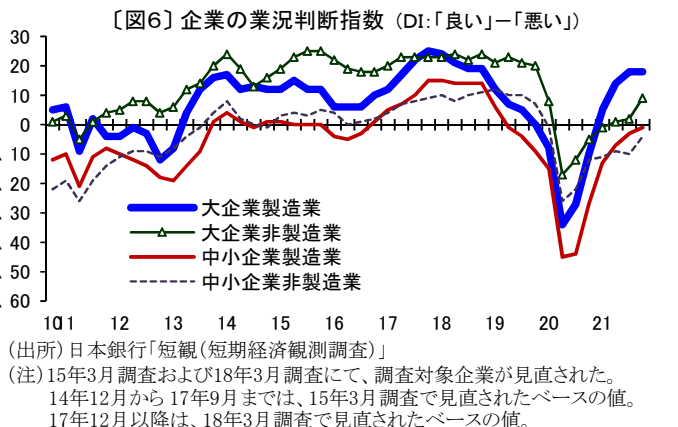
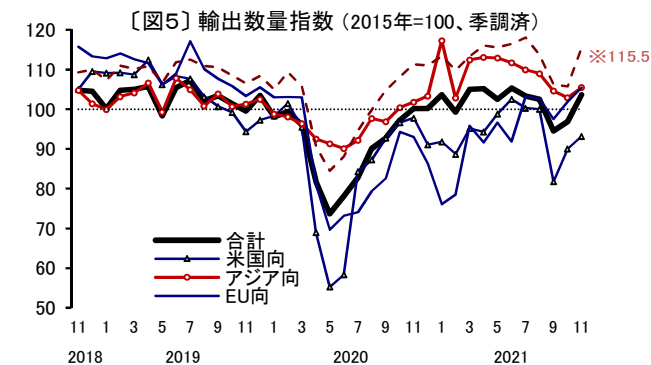
・12月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比10.0%減と6か月連続の減少。普通車が4か月連続のマイナス、小型車、軽が7か月連続のマイナスとなった。
 ・11月の小売販売額(速報)は前年同月比1.9%増と2か月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比1.3%減と4か月連続の減少となった。

・11月の完全失業率は前月比0.1ポイント上昇の2.8%、有効求人倍率は前月から横ばいの1.15倍となった。また、新規求人倍率は前月から0.05ポイント上昇の2.13倍となった。



・11月の輸出数量指数(季調済)は前月比6.9%増と2か月連続の上昇となった。向先別では、アジア向けが7か月ぶり、EU向け、米国向けが2か月連続と、いずれも上昇した。
 ・11月の実質輸出(日銀)は前月比9.2%増と、4か月ぶりの増加となった。

・日銀の12月短観によると、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)は、大企業製造業が前回(9月)から横ばいのプラス18となり、先行きは5ポイント低下のプラス13の見込み。なお、大企業非製造業は前回から7ポイント上昇のプラス9(先行きは1ポイント低下のプラス8)、中小企業製造業が前回から2ポイント上昇のマイナス1(先行きは横ばいのマイナス1)、中小企業非製造業は前回から6ポイント上昇のマイナス4(先行きは2ポイント低下のマイナス6)となった。



2. 鉄鋼需要産業動向

—12月の四輪車販売は6ヵ月連続のマイナス—

<土木>

○11月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比20.6%減の4,575億円

- ・発注者別には、国の機関(39.7%減・6ヵ月連続)、地方の機関(13.7%減・6ヵ月連続)といずれも減少し、全体では前年同月比20.6%減の4,575億円と6ヵ月連続の減少となった。

○11月の公共土木工事受注額は前年同月比18.8%減の8,682億円

- ・港湾空港(18.3%増)が増加した一方、治山治水(11.0%減)、道路(10.6%減)、下水道公園(12.6%減)、鉄道軌道(9.9%減)、上工業水道(68.6%減)等が減少し、全体では18.8%減の8,682億円と5ヵ月連続の減少となった。

○11月の民間土木工事受注額は前年同月比7.1%減の3,448億円

- ・製造業・鉱業・建設業(2.1倍)が増加も、電気ガス(48.0%減)、運輸・通信(5.1%減)等が減少し、全体では7.1%減の3,448億円と2ヵ月連続の減少となった。

<建築>

○11月の新設住宅着工戸数は前年同月比3.7%増の7.3万戸と9ヵ月連続の増加

- ・利用関係別には、持家(5.5%増・13ヵ月連続)、貸家(1.4%増・9ヵ月連続)、分譲(6.5%増・2ヵ月連続)が増加し、全体では3.7%増の7.3万戸と9ヵ月連続で増加した。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は84.8万戸と、90万戸を4ヵ月連続で下回った。

○11月の非住宅着工床面積は前年同月比10.9%増の374万㎡と2ヵ月連続の増加

- ・用途別では、商業・サービス(6.0%減)、公務文教(8.4%減)が減少した一方、鉱工業(48.4%増)、公益事業(38.4%増)が増加し、全体では10.9%増の374万㎡と2ヵ月連続で増加した。
- ・使途別では、店舗(39.3%減)が減少した一方、事務所(12.0%増)、工場(60.1%増)、倉庫(36.1%増)が増加した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は4,574万㎡と5千万㎡を2ヵ月ぶりに下回った。

〔表1〕建設関連統計指標

(単位：億円、千戸、%)

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算着工戸数
	国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マソソ)		
2019年度	90,282	30,717	59,566	113,462	42,648	883.7	283.3	334.5	259.7	111.6	-
2020年度	94,185	33,215	60,970	120,374	37,988	812.2	263.1	303.0	239.1	108.2	-
2020年 7-9月	26,953	7,700	19,253	34,969	8,947	209.5	67.0	80.4	60.5	29.7	820.6
10-12月	18,427	4,590	13,837	27,006	8,925	207.1	69.8	76.9	57.9	24.1	801.9
2021年 1-3月	18,299	7,004	11,295	36,826	12,018	191.0	61.9	69.6	58.3	25.9	829.7
4-6月	29,831	13,757	16,074	33,224	10,035	221.0	71.9	83.7	63.8	27.2	874.9
7-9月	24,273	6,606	17,668	38,299	10,056	224.7	76.8	86.2	60.3	24.3	875.5
2021年 9月	8,587	2,006	6,581	14,977	4,273	73.2	25.7	28.3	18.9	7.3	845.1
10月	6,472	1,136	5,336	11,856	2,701	78.0	26.8	29.8	20.8	8.4	892.0
11月	4,575	930	3,645	8,682	3,448	73.4	25.3	26.8	20.8	8.2	848.3
2019年度	6.2	7.3	5.6	10.7	11.7	▲7.3	▲1.5	▲14.2	▲2.8	▲6.7	-
2020年度	4.3	8.1	2.4	6.1	▲10.9	▲8.1	▲7.1	▲9.4	▲7.9	▲3.1	-
2020年 7-9月	9.5	11.7	8.6	12.6	▲8.5	▲10.1	▲9.9	▲9.7	▲11.7	▲3.5	2.6
10-12月	▲2.7	4.6	▲4.9	3.6	▲5.1	▲7.0	▲0.9	▲10.4	▲11.4	▲10.6	▲2.3
2021年 1-3月	1.4	15.8	▲5.9	7.2	▲16.0	▲1.6	3.4	▲5.1	▲1.9	1.2	3.5
4-6月	▲2.2	▲1.2	▲3.1	22.8	7.0	8.1	11.7	10.0	2.1	▲4.2	5.5
7-9月	▲9.9	▲14.2	▲8.2	▲13.9	▲3.8	7.2	14.7	7.2	▲0.3	▲18.1	0.1
2021年 9月	▲13.6	▲22.6	▲10.5	▲11.7	17.4	4.3	14.9	12.8	▲14.9	▲39.4	▲7.2
10月	▲21.2	▲46.8	▲12.2	▲7.4	▲8.7	10.4	16.6	14.5	0.6	▲14.9	5.6
11月	▲20.6	▲39.7	▲13.7	▲18.8	▲7.1	3.7	5.5	1.4	6.5	2.4	▲4.9
4月からの累計	65,151	22,427	42,724	92,061	26,239	597.1	200.9	226.6	165.7	68.3	-
前年同期	71,435	25,297	46,137	95,020	26,501	555.5	178.3	209.0	163.2	76.1	-
増減量	▲6,283	▲2,870	▲3,414	▲2,958	▲262	41.6	22.6	17.6	2.5	▲7.8	-
前年同期比	▲8.8	▲11.3	▲7.4	▲3.1	▲1.0	7.5	12.7	8.4	1.5	▲10.3	-

(出所)保証事業会社協会、国土交通省

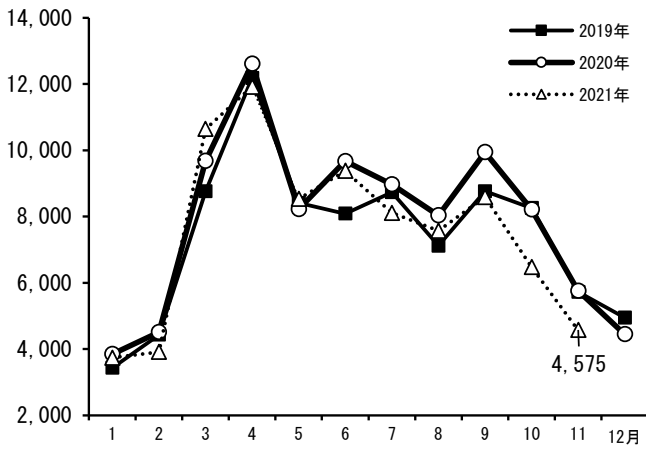
(注)1.土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舎・庁舎その他を除いたもの。

2.年率換算着工戸数は前月(期)比増減率。

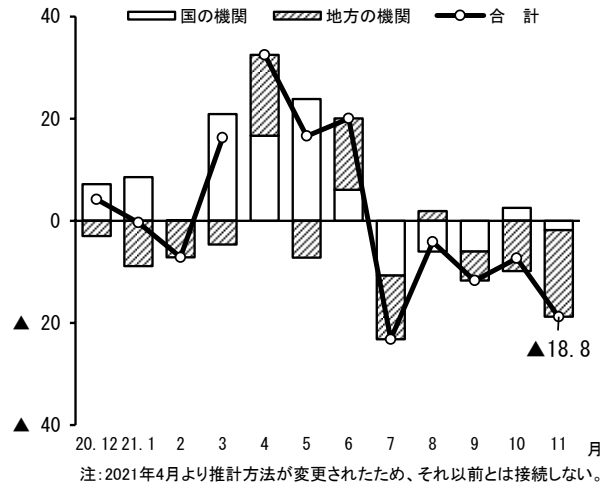
3.土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

4.前年比は参考値として公表された新推計方法に基づく前年同月値との比較。斜字は旧基準の値。

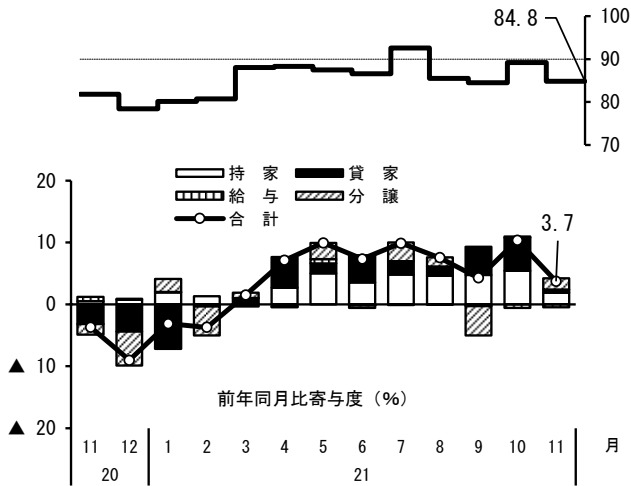
〔図7〕公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



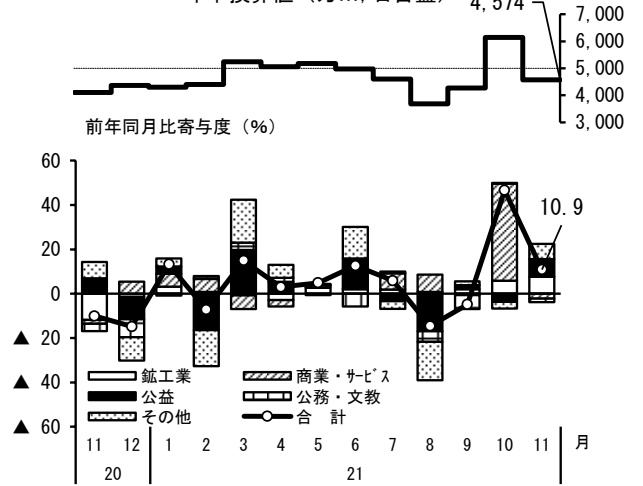
〔図8〕公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図9〕新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図10〕非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）



（単位：万㎡、%）

	建築着工床面積計												鋼構造建築着工床面積		
	居住用	非居住用	用途別				用途別					SRC	RC	S	
			(鉱工業)	(商業・サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)					
2019年度	12,493	7,695	4,798	1,020	1,771	783	879	653	415	773	1,003	148	2,270	4,493	
2020年度	11,430	6,938	4,492	801	1,633	947	812	609	406	594	1,186	189	2,157	4,027	
2020年 7-9月	2,918	1,778	1,141	202	335	280	232	147	84	150	323	35	618	982	
10-12月	2,816	1,759	1,057	185	429	182	184	144	122	134	256	62	449	966	
2021年 1-3月	2,741	1,643	1,098	189	410	254	186	147	104	138	310	35	528	1,003	
4-6月	3,181	1,905	1,276	231	452	305	192	184	117	199	345	40	566	1,188	
7-9月	3,015	1,924	1,091	220	389	212	193	175	97	153	262	36	518	1,035	
2021年 9月	995	625	370	75	126	90	53	41	34	46	110	18	162	343	
10月	1,209	677	533	90	279	62	72	177	38	65	101	22	162	531	
11月	1,013	639	374	80	120	96	56	44	27	61	121	14	175	346	
2019年度	▲4.7	▲3.9	▲6.0	▲17.5	▲4.6	12.1	▲1.6	7.2	▲20.4	▲23.4	14.4	1.0	0.2	▲10.2	
2020年度	▲8.5	▲9.8	▲6.4	▲21.5	▲7.8	21.0	▲7.6	▲6.7	▲2.2	▲23.1	18.3	27.9	▲5.0	▲10.4	
2020年 7-9月	▲12.8	▲14.9	▲9.3	▲28.5	▲21.9	52.8	▲5.7	▲9.6	▲20.0	▲28.3	41.8	4.3	5.8	▲21.1	
10-12月	▲9.3	▲8.3	▲10.8	▲31.0	1.7	6.3	▲24.6	▲12.0	30.9	▲38.1	14.2	99.2	▲12.8	▲13.8	
2021年 1-3月	2.1	▲0.8	6.7	5.3	4.0	10.3	8.2	▲5.7	15.7	6.9	15.0	▲14.9	▲3.5	7.9	
4-6月	7.7	8.3	6.7	3.1	▲1.5	31.7	▲8.1	8.0	21.6	15.0	16.0	▲29.6	0.7	10.5	
7-9月	3.3	8.2	▲4.4	8.9	16.1	▲24.3	▲16.8	19.1	14.7	1.8	▲19.0	3.9	▲16.2	5.4	
2021年 9月	▲1.2	1.1	▲4.9	11.5	▲2.1	9.0	▲31.6	▲29.6	22.2	▲8.9	17.9	▲29.0	▲22.7	1.7	
10月	25.8	13.2	46.6	31.2	132.8	▲17.5	1.2	399.4	35.1	30.5	13.7	105.3	▲7.6	61.7	
11月	8.0	6.5	10.9	48.4	▲6.0	38.4	▲8.4	12.0	▲39.3	60.1	36.1	▲50.5	16.3	15.4	
4月からの累計	8,418	5,144	3,273	621	1,239	675	514	580	279	478	829	113	1,420	3,100	
前年同期	7,771	4,734	3,038	549	1,041	656	574	392	253	411	799	131	1,506	2,686	
増減量	646	411	236	72	199	19	▲60	188	26	67	30	▲19	▲85	415	
前年同期比	8.3	8.7	7.8	13.2	19.1	2.9	▲10.5	48.0	10.2	16.3	3.8	▲14.3	▲5.7	15.4	

<自動車> - 11月の四輪車生産は4ヵ月連続のマイナス

○12月の国内販売（輸入車除く）は前年同月比10.5%減の30.7万台と6ヵ月連続のマイナス

- ・ 12月の国内販売（輸入車除く）は、乗用車（10.0%減）は、普通車が4ヵ月連続のマイナス、小型車、軽がともに7ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体では6ヵ月連続のマイナスとなった。トラック（12.8%減）は、普通車、小型車がともに4ヵ月連続のマイナス、軽が6ヵ月連続のマイナスとなり、全体では5ヵ月連続のマイナスとなった。バス（19.5%減）は、2ヵ月連続のマイナスとなった。四輪車計（輸入車除く）では、前年同月比10.5%減の30.7万台と6ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 21暦年の国内販売（輸入車除く）は前年比4.1%減の410万台と3年連続のマイナス。また、輸入車を含む総計では同3.3%減の445万台と3年連続のマイナスとなった。

○11月の完成車輸出は前年同月比13.4%減の34.2万台と4ヵ月連続のマイナス

- ・ 11月の完成車輸出は、オセアニア向け（15.1%増）がプラスとなったものの、アジア向け（14.7%減）、中近東向け（20.2%減）、欧州向け（12.8%減）、北米向け（23.5%減）が減少したことから、全体では13.4%減の34.2万台と4ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 12月の米国新車販売は、前年同月比25.5%減の120.6万台と5ヵ月連続のマイナス。季調済・年率換算では1,244万台となった。一方、12月の中国新車販売（中国汽车工业协会発表）は、前年同月比1.6%減の279万台と8ヵ月連続のマイナスとなった。21暦年では前年比3.9%増の2,625万台と4年ぶりのプラスとなった。

○11月の生産（速報）は前年同月比3.3%減の75.6万台と4ヵ月連続のマイナス

- ・ 11月の生産は、乗用車（4.4%減）は、小型車が7ヵ月ぶりにプラスとなったものの、普通車（4ヵ月連続減）、軽（6ヵ月連続減）がマイナスとなり、全体では4ヵ月連続のマイナスとなった。トラック（2.1%増）は、軽が4ヵ月連続のマイナスとなったものの、普通車が2ヵ月ぶり、小型車が4ヵ月ぶりのプラスとなったことから、全体では3ヵ月ぶりのプラス。四輪車合計では3.3%減の75.6万台と4ヵ月連続のマイナスとなった。

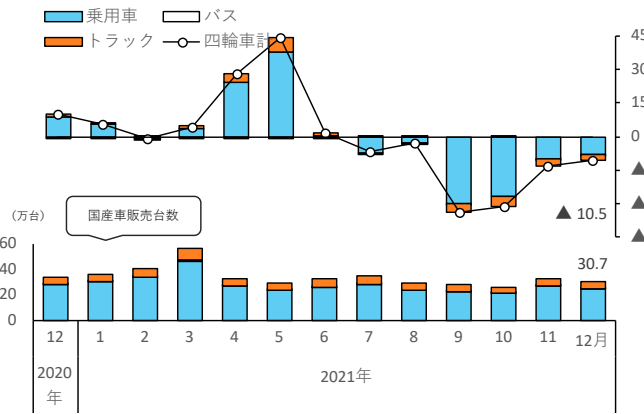
〔表2〕四輪車国内販売台数

（単位：千台、%）

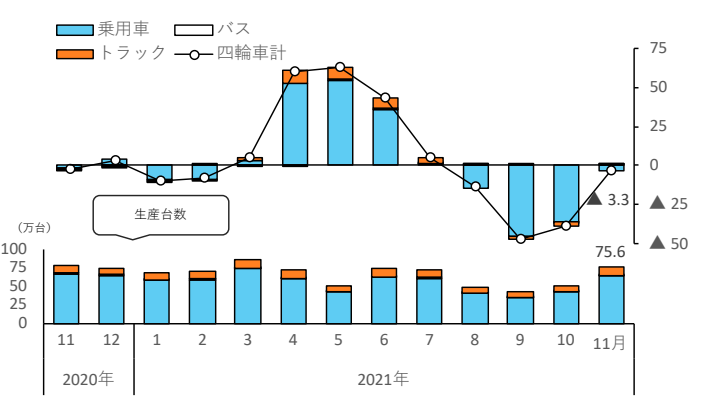
	国産車販売										輸 入	国 内 販売計
	四輪車計	乗用車				トラック			バ ス			
		普通車	小型車	軽四輪		普通車	小型車	軽四輪				
2019年度	4,699	3,855	1,223	1,193	1,439	831	171	244	416	13	348	5,048
2020年度	4,321	3,546	1,111	1,072	1,363	767	152	220	395	8	336	4,657
2020年10-12月	1,100	901	301	259	341	197	37	53	107	2	98	1,198
2021年 1- 3月	1,328	1,104	361	311	432	221	44	63	114	3	101	1,430
4- 6月	949	768	251	218	300	180	34	50	96	1	85	1,035
7- 9月	930	751	262	217	272	177	38	54	84	2	86	1,016
P10-12月	896	737	259	206	272	158	31	45	82	1	72	968
2021年 10月	259	213	73	60	80	46	10	13	23	*	20	279
11月	329	271	93	75	103	58	11	17	30	*	23	352
P 12月	307	253	93	71	89	54	11	14	29	*	29	336
2019年度	▲4.0	▲4.2	▲3.9	▲5.8	▲3.1	▲3.2	▲1.7	▲1.5	▲4.7	▲3.2	▲4.2	▲4.0
2020年度	▲8.1	▲8.0	▲9.1	▲10.1	▲5.3	▲7.7	▲11.1	▲9.8	▲5.2	▲40.3	▲3.5	▲7.7
2020年10-12月	13.8	14.7	20.8	7.2	15.7	10.7	8.5	2.5	16.1	▲38.7	24.4	14.6
2021年 1- 3月	3.1	3.1	9.9	▲9.0	7.9	3.7	▲1.7	1.3	7.4	▲35.4	21.6	4.2
4- 6月	21.5	22.6	41.7	▲2.2	32.1	17.4	5.7	5.6	29.9	▲25.3	56.9	23.8
7- 9月	▲16.3	▲17.8	▲3.8	▲22.1	▲25.0	▲9.1	▲3.3	▲3.1	▲14.8	▲18.6	4.7	▲14.8
10-12月	▲18.5	▲18.2	▲14.0	▲20.4	▲20.3	▲19.9	▲15.4	▲15.1	▲23.9	▲13.2	▲26.7	▲19.2
2021年 10月	▲31.2	▲31.9	▲25.5	▲37.7	▲32.5	▲28.0	▲8.4	▲25.7	▲35.3	4.9	▲33.1	▲31.3
11月	▲13.2	▲11.9	▲12.9	▲9.5	▲12.7	▲18.8	▲12.8	▲8.0	▲25.6	▲21.9	▲28.1	▲14.4
12月	▲10.5	▲10.0	▲3.5	▲11.3	▲15.0	▲12.8	▲23.3	▲11.5	▲8.9	▲19.5	▲20.2	▲11.4
1月からの累計	4,104	3,361	1,132	952	1,276	736	147	213	377	7	345	4,448
前年同期	4,281	3,513	1,079	1,103	1,331	759	153	219	387	9	318	4,599
増 減 量	▲177	▲152	53	▲150	▲55	▲22	▲6	▲6	▲10	▲2	27	▲150
前年同期比	▲4.1	▲4.3	5.0	▲13.6	▲4.2	▲3.0	▲3.9	▲2.9	▲2.6	▲26.3	8.4	▲3.3

（出所）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

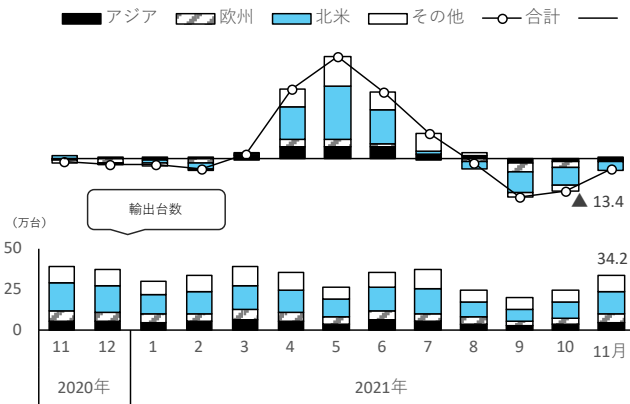
〔図 11〕国産車販売台数・前年同月比寄与度(%)



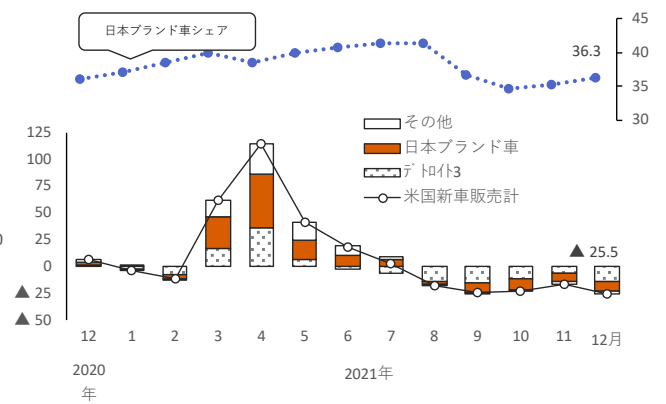
〔図 12〕四輪車生産台数・前年同月寄与度(%)



〔図 13〕四輪車輸出台数・前年同月比寄与度(%)



〔図 14〕米国新車販売台数・前年同月寄与度(%)



〔表 3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

	輸 出									生 産			米国新車販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車	トラック		
2019年度	4,715	653	472	929	706	1,848	1,660	397	9,487	8,169	1,196	16,533	
2020年度	3,671	574	310	638	366	1,501	1,356	374	7,983	6,857	1,064	14,958	
2020年 7-9月	939	133	53	170	102	437	398	91	2,075	1,806	255	3,922	
10-12月	1,179	170	100	189	103	517	471	117	2,372	2,059	296	4,180	
2021年 1-3月	1,038	167	106	167	100	397	349	114	2,264	1,930	316	3,899	
4-6月	983	173	88	146	83	387	334	109	1,962	1,651	292	4,444	
7-9月	827	128	75	117	57	326	296	101	1,643	1,363	262	3,402	
2021年 9月	200	27	18	31	14	76	69	23	431	346	80	1,021	
10月	246	37	16	40	21	96	88	29	515	429	81	1,055	
P 11月	342	48	30	59	32	130	120	42	756	646	103	1,012	
2019年度	▲2.5	3.2	4.3	0.7	3.0	▲5.5	▲5.6	▲5.0	▲2.6	▲2.3	▲5.5	▲3.9	
2020年度	▲22.1	▲12.0	▲34.4	▲31.4	▲48.1	▲18.8	▲18.3	▲5.8	▲15.9	▲16.1	▲11.0	▲9.5	
2020年 7-9月	▲21.5	▲19.3	▲55.1	▲33.5	▲48.8	▲2.3	▲1.8	▲10.4	▲13.8	▲13.1	▲14.1	▲9.4	
10-12月	▲3.1	▲0.4	▲30.1	▲19.4	▲47.0	9.2	9.8	25.8	2.7	4.0	0.4	▲2.3	
2021年 1-3月	▲6.3	9.7	▲12.5	▲18.5	▲23.4	▲7.3	▲7.8	11.0	▲4.1	▲5.6	9.3	12.1	
4-6月	91.5	65.5	76.1	30.8	36.3	157.6	142.1	107.5	54.2	55.5	47.6	50.3	
7-9月	▲12.0	▲3.6	40.4	▲31.3	▲44.3	▲25.4	▲25.6	11.7	▲20.8	▲24.5	2.9	▲13.3	
2021年 9月	▲47.1	▲47.5	▲30.1	▲57.8	▲68.9	▲54.6	▲54.3	▲37.2	▲47.4	▲51.8	▲18.7	▲24.4	
10月	▲40.5	▲33.7	▲46.2	▲40.9	▲47.4	▲47.8	▲47.8	▲38.2	▲38.5	▲41.3	▲20.2	▲23.0	
11月	▲13.4	▲14.7	▲20.2	▲12.8	▲10.0	▲23.5	▲23.2	15.1	▲3.3	▲4.4	2.1	▲16.3	
4月からの累計	2,399	386	210	362	192	940	838	282	4,876	4,089	738	9,913	
前年同期	2,262	349	172	417	238	942	860	227	4,967	4,274	656	9,458	
増 減 量	137	37	38	▲55	▲45	▲2	▲23	54	▲91	▲185	83	456	
前年同期比	6.0	10.6	22.0	▲13.2	▲19.1	▲0.2	▲2.6	23.8	▲1.8	▲4.3	12.7	4.8	

(出所) 経済産業省、日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 輸出については、17年12月より一部トラックメーカーの数値が含まれていない。生産については、17年12月より日本自動車工業会公表値

に一部トラックメーカーの数値が含まれなくなったため、同月より経済産業省の公表値を使用(速報値はトラックにけん引車が含まれていない)

<産業機械>

○11月の受注は前年同月比22.3%増と8ヵ月連続の増加

- ・ 民需 (7.2%増・3ヵ月連続)、官公需 (0.8%増・2ヵ月連続)、外需 (41.4%増・8ヵ月連続) がいずれも増加した。外需では、原動機 (96.0%増・3ヵ月連続)、工作機械 (40.7%増・13ヵ月連続)、ウエイトの高い産業機械 (34.4%増・16ヵ月連続) が増加した。

○11月の生産用機械工業の生産は前年同月比27.8%増と10ヵ月連続の増加。また、汎用・業務用機械工業の生産も同5.9%増と10ヵ月連続の増加

- ・ 生産用機械工業の生産を機種別にみると、農業用機械 (27.8%増・10ヵ月連続)、建設・鉱山機械 (22.7%増・10ヵ月連続)、化学機械 (23.8%増・3ヵ月ぶり)、金属加工・工作機械 (16.0%増・9ヵ月連続) が、いずれも増加したことから、全体では前年同月比27.8%増と10ヵ月連続の増加となった。
- ・ 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、ボイラ・原動機 (19.3%減・2ヵ月連続)、冷凍機・温湿調整装置 (3.9%減・3ヵ月連続) が減少したが、運搬装置 (4.7%増・2ヵ月ぶり) が増加したことから、全体では前年同月比5.9%増と10ヵ月連続の増加となった。

<電気機械>

○11月の生産は前年同月比5.8%増と14ヵ月連続の増加

- ・ 重電機は、3.4%増と2ヵ月ぶりの増加となった。品目別には、回転電機 (0.6%増・14ヵ月連続)、静止電機 (3.2%増・2ヵ月ぶり)、開閉制御装置 (6.5%増、8ヵ月連続) が、いずれも増加した。
- ・ 家庭用電気機器は、民生用電機 (16.2%減・6ヵ月連続)、民生用電子 (11.8%減・4ヵ月連続) が、いずれも減少し、全体では14.6%減と6ヵ月連続の減少となった。

<造船>12月の手持工事量は前月末比1.3%増の1,871万G/Tと3ヵ月連続の増加

- 11月の起工量は前年同月比78.7%増の101万G/Tと4ヵ月ぶりに増加した。
- 12月の輸出船契約量は前年同月比26.8%減の64万G/Tと3ヵ月ぶりに減少した。2021暦年では、前年比2.1倍の1,521万G/Tと3年ぶりの増加となった。
- 12月末の手持工事量は前月末比1.3%増の1,871万G/Tと3ヵ月連続で増加した。

[表4] 産業機械活動水準

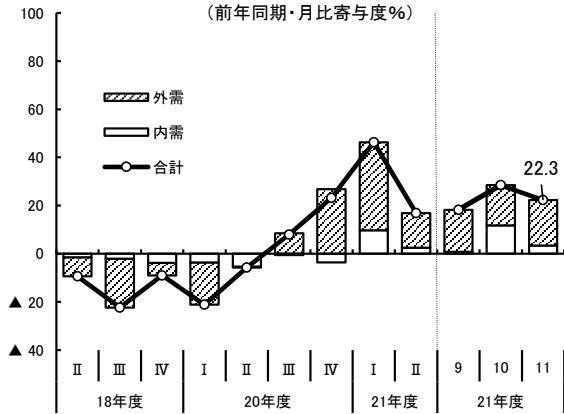
(単位:億円、IIP<15年=100>、%)

	受注額				IIP								
	合計	民需	官公需	外需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2019年度	112,867	53,723	6,828	47,332	104.2	91.2	104.2	84.8	74.3	100.7	79.3	115.9	111.9
2020年度	114,949	49,314	7,730	53,237	98.3	81.0	95.9	72.9	52.9	89.7	69.2	96.5	97.9
2020年 7-9月	27,103	11,801	2,965	11,211	88.1	77.8	86.8	66.7	52.8	83.2	59.4	88.9	91.9
10-12月	27,056	12,185	1,303	12,336	99.6	79.5	106.6	65.4	52.3	96.8	90.6	106.6	111.5
2021年 1-3月	39,514	14,275	1,755	22,255	115.9	94.8	109.5	94.2	61.9	99.2	70.0	110.5	112.8
4-6月	31,128	12,940	1,680	15,221	112.3	100.8	116.2	53.1	62.5	97.7	78.5	77.3	113.9
7-9月	31,671	13,218	2,095	15,105	117.0	94.9	111.5	66.0	62.9	99.1	79.5	94.7	100.2
2021年 9月	11,683	5,389	724	5,143	125.4	100.8	118.5	62.3	68.3	106.0	94.6	115.0	100.0
10月	10,643	4,389	697	5,097	116.0	90.5	125.5	63.6	57.6	98.1	67.2	83.9	105.3
11月	10,726	4,175	486	5,635	123.8	98.5	125.4	62.5	63.1	102.1	82.8	105.2	109.1
2019年度	▲14.0	▲7.3	2.7	▲23.0	▲8.5	▲1.1	▲3.2	17.3	▲19.9	▲6.1	▲20.1	6.3	▲1.6
2020年度	1.8	▲8.2	13.2	12.5	▲5.7	▲11.2	▲8.0	▲14.1	▲28.8	▲10.9	▲12.8	▲16.7	▲12.5
2020年 7-9月	▲5.7	▲17.9	68.0	▲0.8	▲17.9	▲19.1	▲24.6	▲31.7	▲32.7	▲20.7	▲30.7	▲36.6	▲16.6
10-12月	8.0	0.0	▲9.8	20.8	▲1.3	3.6	33.7	▲30.7	▲27.4	▲3.5	10.3	▲5.0	▲0.3
2021年 1-3月	23.2	▲4.8	▲20.4	62.8	11.3	5.1	2.2	22.3	▲2.9	▲1.2	▲7.3	▲12.4	4.8
4-6月	46.3	17.1	▲1.6	104.7	25.6	40.6	43.5	▲18.7	40.5	22.9	38.5	▲3.2	51.1
7-9月	16.9	12.0	▲29.3	34.7	32.8	22.0	28.5	▲1.1	19.1	19.2	33.9	6.5	9.0
2021年 9月	18.2	25.2	▲58.8	50.3	27.4	22.9	17.2	▲21.4	13.1	18.2	68.9	10.6	▲0.9
10月	28.5	18.1	58.4	37.2	25.3	12.4	11.2	▲14.2	28.3	2.5	▲2.0	▲28.5	▲9.5
11月	22.3	7.2	0.8	41.4	27.8	27.8	22.7	23.8	16.0	5.9	▲19.3	4.7	▲3.9
4月からの累計	84,167	34,723	4,958	41,058	116.0	97.0	116.8	60.4	62.1	98.8	78.0	88.1	107.1
前年同期	65,434	30,464	5,594	26,346	90.3	75.7	89.8	65.1	48.9	85.0	64.9	90.5	91.5
増減量	18,732	4,258	▲636	14,712	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	28.6	14.0	▲11.4	55.8	28.5	28.1	30.0	▲7.1	27.0	16.3	20.1	▲2.6	17.1

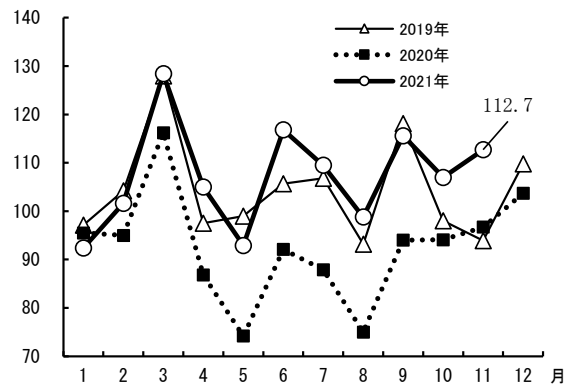
(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。

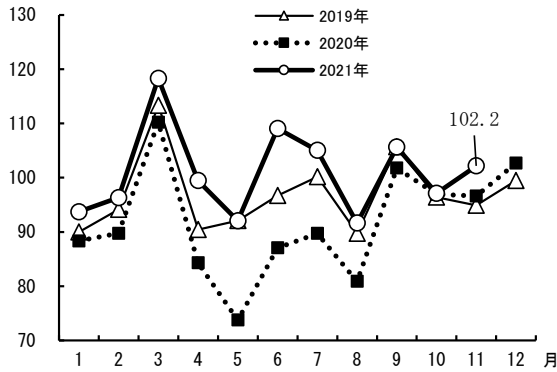
〔図15〕産業機械受注向け先別推移



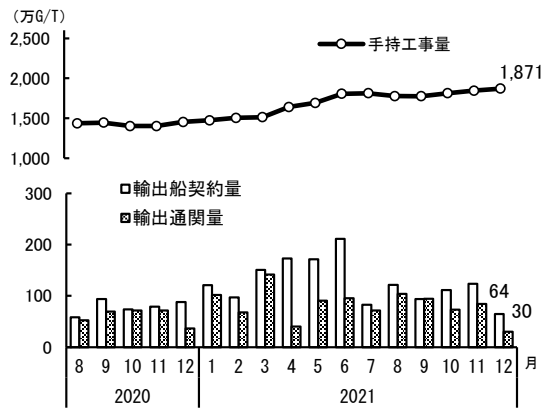
〔図16〕はん用・生産用・業務用機械生産指数(2015年=100)



〔図17〕電気機械生産指数(2015年=100)



〔図18〕造船輸出船契約・通関・手持工事量



〔表5〕電気機械、造船活動水準

(単位: IIP<15年=100>・%、千G/T、%)

	I I P							造 船				
	電気機械	重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電子 部 品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持 工事量
2019年度	96.2	97.3	93.0	97.9	84.8	62.9	111.7	12,250	15,623	8,449	14,756	17,397
2020年度	93.5	90.2	88.1	95.8	75.1	74.5	123.2	9,518	11,640	8,947	10,162	15,128
2020年10-12月	98.7	93.6	88.0	89.4	85.6	85.0	134.5	2,989	2,434	2,403	1,796	14,545
2021年 1- 3月	102.8	103.0	89.2	95.6	78.6	100.1	129.0	1,837	3,412	3,688	3,107	15,128
4- 6月	100.2	92.9	95.2	110.8	69.0	79.7	131.7	2,318	2,326	5,549	2,262	18,067
7- 9月	100.8	92.5	70.5	77.0	59.6	78.5	136.9	1,870	2,731	2,975	2,700	17,751
P10-12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,994	1,870	18,708
2021年 10月	97.1	89.7	70.4	77.3	58.9	66.6	125.3	812	770	1,114	731	18,130
11月	102.2	93.7	75.1	75.0	75.3	63.2	128.8	1,013	786	1,236	841	18,460
P 12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	644	298	18,708
2019年度	▲6.2	▲6.0	▲10.6	▲9.0	▲13.5	▲9.7	0.3	11.8	13.7	▲21.0	33.5	▲30.8
2020年度	▲2.8	▲7.3	▲5.2	▲2.1	▲11.4	18.5	10.3	▲22.3	▲25.5	5.9	▲31.1	▲13.0
2020年10-12月	1.9	▲0.0	3.1	4.0	1.5	31.2	14.2	▲9.6	▲30.5	▲1.2	▲45.6	0.6
2021年 1- 3月	7.0	▲2.6	7.0	7.8	5.5	35.2	14.7	▲33.6	▲21.7	77.9	▲25.6	4.0
4- 6月	22.6	16.7	4.3	3.8	5.7	63.1	25.1	▲9.0	▲41.1	539.4	▲37.0	19.4
7- 9月	11.0	9.2	▲16.0	▲15.9	▲16.1	22.5	10.2	▲12.8	47.8	49.6	62.0	▲1.8
10-12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.6	4.1	5.4
2021年 10月	0.2	▲0.9	▲21.2	▲12.2	▲35.8	▲15.2	▲7.9	▲24.5	▲27.1	51.5	2.3	2.7
11月	5.8	3.4	▲14.6	▲16.2	▲11.8	▲20.6	▲3.9	78.7	7.6	56.9	17.4	1.8
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲26.8	▲18.4	1.3
1月からの累計	101.0	95.3	82.8	91.1	68.7	82.2	131.5	7,852	10,024	15,206	9,940	-
前年同期	90.8	90.1	86.6	94.4	73.6	65.4	117.8	9,103	11,939	7,333	11,233	-
増 減 量	-	-	-	-	-	-	-	▲1,252	▲1,914	7,873	▲1,293	-
前年同期比	11.1	5.8	▲4.5	▲3.5	▲6.7	25.8	11.7	▲13.8	▲16.0	107.4	▲11.5	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

- (注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。
- 2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。
- 3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。
- 4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

3. 鋼材受注

—11月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比2.3%減の309万トンと3ヵ月連続の減少—

○11月の普通鋼鋼材受注(内需計)が、前年同月比2.3%減の309万トンと3ヵ月連続の減少。

・建設用(3.3%増)は、土木(11.8%減・5ヵ月連続)が減少したものの、建築(4.6%増・2ヵ月連続)、その他建設(15.0%増・12ヵ月連続)が増加したことから、全体では2ヵ月連続の増加となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。

- ・製造業用(9.9%減)は、造船(17.6%増、20ヵ月ぶり)、産機(8.9%増・15ヵ月連続)、電機(5.8%増・9ヵ月連続)が増加したものの、自動車(29.1%減・3ヵ月連続)が減少したことから、製造業全体では3ヵ月連続の減少となった。
- ・建設向けのウェイトが高い販売業者向け(3.0%増)は10ヵ月連続で増加した。
- ・内需全体では2.3%減の309万トンと3ヵ月連続の減少となった。
- ・輸出向け(1.6%減)は2ヵ月ぶりの減少となった。

○11月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比2.9%減の96万トンと2ヵ月連続の減少。

- ・製造業用(5.5%減)は、産機(12.8%増・14ヵ月連続)が増加したものの、自動車(13.2%減・3ヵ月連続)、次工程(4.8%減・2ヵ月連続)が減少したため、全体では2ヵ月連続の減少となった。
- ・内需全体(2.9%減)では2ヵ月連続の減少となった。
- ・輸出向け(10.9%減)は2ヵ月連続の減少となった。

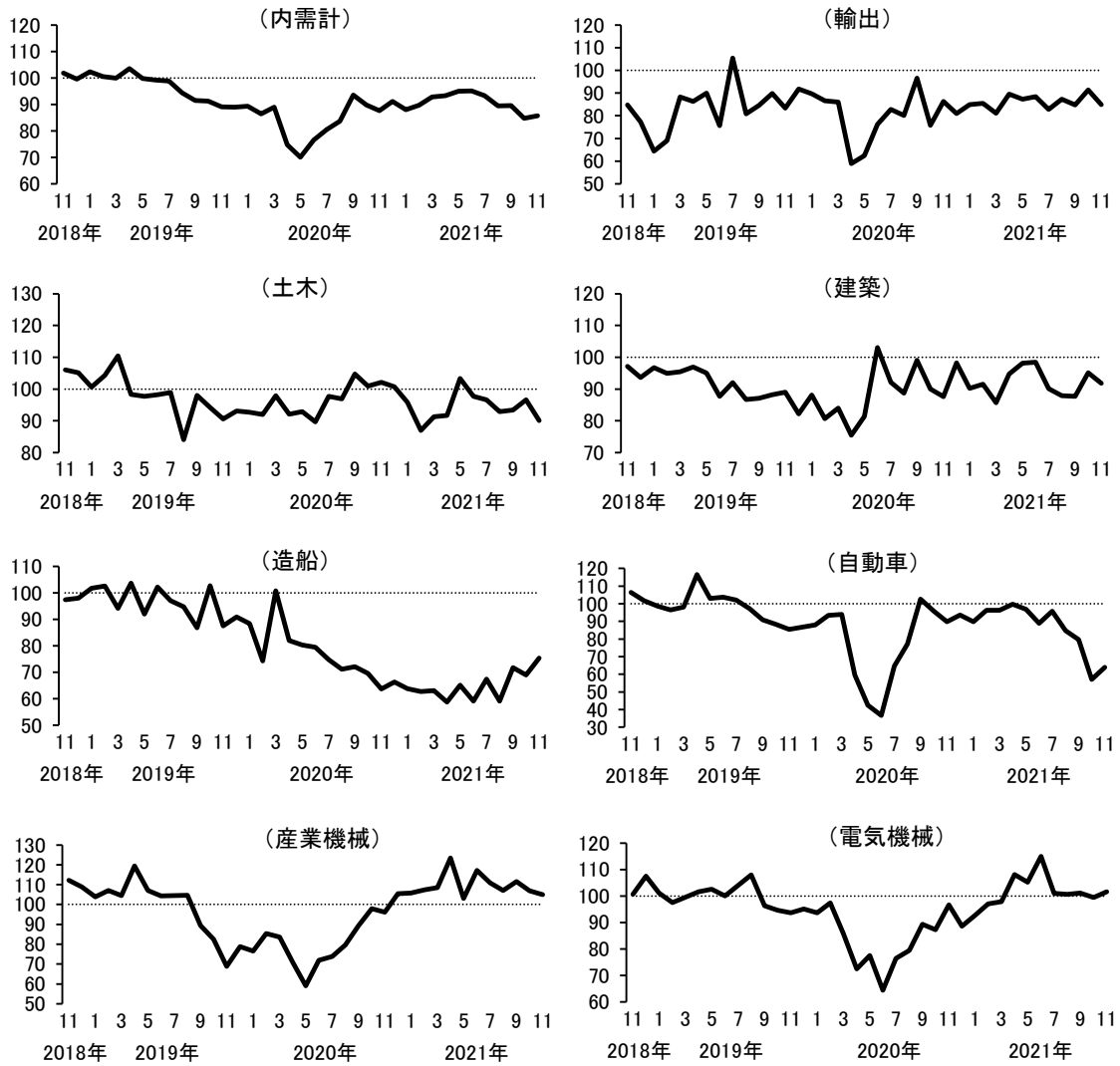
[表6] 鋼材受注総括表

(単位：千トン、%)

	普通鋼											特殊鋼			
	建設計	普			通				鋼				販売業者	内需計	輸出
		土木	建築	その他建設	製造業計										
					造船	自動車	産機	電機							
2019年度	10,079	2,077	5,717	2,286	17,432	3,751	8,183	1,325	1,465	12,156	39,667	22,738			
2020年度	10,087	2,108	5,858	2,121	14,789	2,847	6,823	1,286	1,278	11,240	36,116	20,528			
2020年 7-9月	2,556	553	1,497	505	3,697	746	1,762	284	296	2,815	9,067	5,467			
10-12月	2,685	572	1,547	565	4,208	661	2,118	377	355	3,013	9,905	5,329			
2021年 1-3月	2,490	486	1,422	582	4,125	621	2,022	387	367	2,911	9,527	5,390			
4-6月	2,692	525	1,563	603	4,036	617	1,887	405	398	3,015	9,743	5,831			
7-9月	2,567	523	1,418	627	4,045	682	1,861	385	365	2,952	9,565	5,370			
2021年 9月	869	191	479	199	1,304	251	572	135	120	1,036	3,208	1,636			
10月	963	196	558	210	1,137	221	442	141	124	1,066	3,167	1,947			
11月	870	161	500	209	1,188	228	469	124	131	1,032	3,090	1,761			
2019年度	▲11.3	▲11.3	▲12.0	▲9.7	▲6.7	▲1.3	▲7.3	▲17.0	▲6.9	▲10.0	▲8.9	6.4			
2020年度	0.1	1.5	2.5	▲7.2	▲15.2	▲24.1	▲16.6	▲3.0	▲12.8	▲7.5	▲9.0	▲9.7			
2020年 7-9月	0.9	7.1	5.1	▲14.4	▲17.1	▲21.4	▲15.5	▲18.6	▲20.8	▲6.8	▲9.4	▲5.9			
10-12月	5.1	9.4	6.9	▲3.1	▲0.5	▲29.3	7.8	30.2	▲3.6	▲4.1	▲0.2	▲8.2			
2021年 1-3月	4.8	▲3.2	5.1	12.0	0.4	▲27.4	2.9	30.7	3.7	2.9	2.3	▲3.9			
4-6月	14.2	6.0	12.3	28.8	46.2	▲24.6	105.0	70.3	52.9	20.6	27.9	34.3			
7-9月	0.5	▲5.5	▲5.3	24.0	9.4	▲8.7	5.6	35.7	23.4	4.9	5.5	▲1.8			
2021年 9月	▲7.7	▲10.1	▲11.2	5.1	▲8.2	▲0.1	▲22.2	25.2	13.2	4.4	▲4.3	▲12.8			
10月	4.6	▲3.9	6.4	8.9	▲20.3	▲1.3	▲39.8	9.5	14.1	6.8	▲5.3	21.2			
11月	3.3	▲11.8	4.6	15.0	▲9.9	17.6	▲29.1	8.9	5.8	3.0	▲2.3	▲1.6			
4月からの累計	7,093	1,405	4,039	1,649	10,406	1,747	4,659	1,056	1,018	8,066	25,564	14,909			
前年同期	6,675	1,435	3,891	1,348	9,200	1,982	4,079	765	789	7,317	23,192	13,204			
増減量	418	▲30	148	301	1,205	▲235	580	291	229	749	2,372	1,705			
前年同期比	6.3	▲2.1	3.8	22.3	13.1	▲11.8	14.2	38.0	29.1	10.2	10.2	12.9			

(出所) 日本鉄鋼連盟

〔図19〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2015年=100）



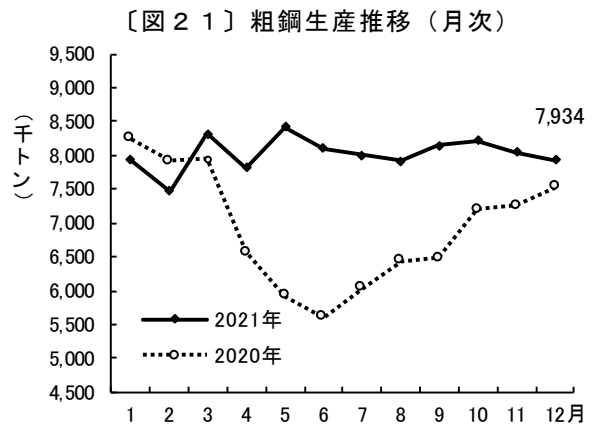
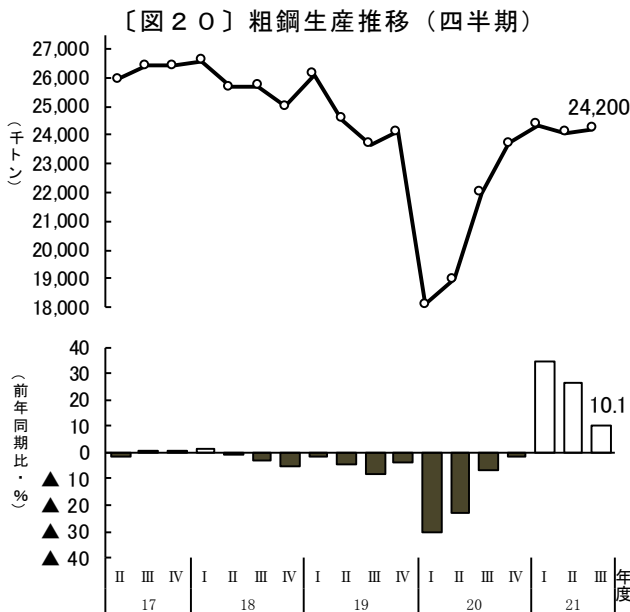
	特 殊 鋼 材							(単位：千トン、%)	
	製造業計				販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計	
	産 機	自 動 車	次 工 程	内需計				輸出計	
2019年度	9,593	1,314	4,368	3,442	945	10,891	5,043	50,558	27,781
2020年度	8,790	1,238	3,894	3,184	853	9,985	4,176	46,102	24,704
2020年 7-9月	2,040	260	977	693	178	2,299	968	11,366	6,435
10-12月	2,702	355	1,214	1,005	235	3,024	1,240	12,930	6,570
2021年 1-3月	2,787	403	1,193	1,055	268	3,142	1,324	12,669	6,713
4-6月	2,695	414	1,116	1,024	277	3,064	1,259	12,807	7,090
7-9月	2,660	409	1,126	988	283	3,031	1,196	12,596	6,566
2021年 9月	885	147	356	340	94	1,009	401	4,217	2,038
10月	779	135	305	295	92	899	350	4,066	2,297
11月	839	137	339	319	96	964	353	4,054	2,114
2019年度	▲13.6	▲23.4	▲6.8	▲17.4	▲21.2	▲14.3	▲10.4	▲10.1	▲2.9
2020年度	▲8.4	▲5.8	▲10.8	▲7.5	▲9.8	▲8.3	▲17.2	▲8.8	▲11.1
2020年 7-9月	▲14.9	▲23.1	▲10.7	▲18.6	▲27.3	▲15.6	▲26.0	▲10.8	▲9.6
10-12月	14.7	20.1	13.2	15.7	1.6	12.9	▲0.4	2.6	▲6.8
2021年 1-3月	23.4	34.6	12.8	33.8	22.3	22.5	15.7	6.7	▲0.6
4-6月	113.7	87.8	118.1	137.2	61.7	101.5	95.5	40.2	42.2
7-9月	30.4	57.0	15.3	42.7	59.3	31.9	23.5	10.8	2.0
2021年 9月	13.6	45.2	▲6.9	32.4	51.1	16.1	11.3	▲0.1	▲8.9
10月	▲14.0	20.7	▲26.7	▲12.6	30.0	▲10.8	▲10.6	▲6.6	15.0
11月	▲5.5	12.8	▲13.2	▲4.8	23.7	▲2.9	▲10.9	▲2.4	▲3.3
4月からの累計	6,973	1,095	2,887	2,626	749	7,958	3,157	33,522	18,066
前年同期	5,095	715	2,296	1,797	498	5,820	2,399	29,012	15,603
増減量	1,877	381	591	829	251	2,138	758	4,510	2,463
前年同期比	36.8	53.3	25.7	46.2	50.4	36.7	31.6	15.5	15.8

－12月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比5.4%増の793万トンと10ヵ月連続の増加、2021暦年(速報)は、前年比15.8%増の9,633万トンと7年ぶりの増加－

4. 鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 12月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比5.4%増の793万トンと10ヵ月連続の増加となった。
- ・ 2021年暦年(速報)は、前年比15.8%増の9,633万トンと7年ぶりの増加となった。
- ・ 12月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比7.0%増の531万トンと10ヵ月連続の増加となった。
- ・ 11月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比6.5%増の354万トンと9ヵ月連続の増加となった。輸出向け出荷は同18.7%増の188万トンと7ヵ月連続の増加となった。
- ・ 11月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比2.2万トン増の604万トンと4ヵ月連続の増加となった。なお、在庫率は前月末比2.0ポイント低下の170.5%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2021年7月～9月	2,469	2,467	2,407
2021年10月～12月	2,411	2,485	2,420
2022年1月～3月	2,415		

〔表7〕鉄鋼需給総括表

(単位:千トン、%)

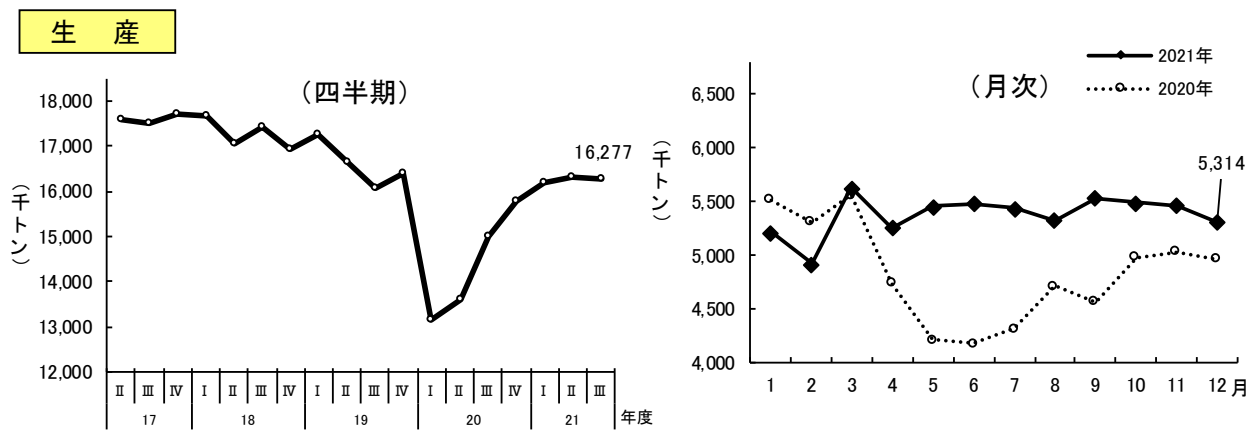
	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2019年度	98,426	74,900	23,526	66,398	17,259	66,451	43,564	22,887	6,632	5,758	157.6
2020年度	82,784	61,416	21,368	57,528	13,827	58,331	37,836	20,494	5,829	5,070	134.6
2020年10-12月	21,988	16,308	5,681	14,994	3,911	15,054	10,034	5,020	5,731	5,087	152.1
2021年1-3月	23,710	17,871	5,839	15,778	4,333	15,679	10,098	5,581	5,829	5,070	150.6
4-6月	24,348	18,117	6,231	16,200	4,413	15,693	10,125	5,568	6,337	5,389	159.7
7-9月	24,075	18,173	5,902	16,308	4,438	15,864	9,794	6,070	6,781	5,869	179.8
10-12月	24,200	17,785	6,415	16,277	-	-	-	-	-	-	-
2021年10月	8,224	6,013	2,211	5,492	1,407	5,391	3,488	1,903	6,882	6,017	172.5
11月	8,042	5,833	2,209	5,470	1,449	5,422	3,542	1,880	6,931	6,038	170.5
12月	7,934	5,939	1,995	5,314	-	-	-	-	-	-	-
2019年度	▲4.3	▲2.5	▲9.6	▲3.9	▲10.6	▲3.7	▲7.7	4.8	▲53	▲171	-
2020年度	▲15.9	▲18.0	▲9.2	▲13.4	▲19.9	▲12.2	▲13.1	▲10.5	▲803	▲688	-
2020年10-12月	▲7.0	▲8.2	▲3.6	▲6.7	▲7.6	▲7.5	▲7.3	▲8.0	▲60	▲36	-
2021年1-3月	▲1.7	▲3.4	4.1	▲3.8	6.2	▲4.2	▲3.5	▲5.5	99	▲17	-
4-6月	34.4	37.5	26.3	23.2	63.4	16.9	18.2	14.6	507	319	-
7-9月	26.9	29.2	20.1	19.8	54.0	11.9	7.2	20.6	444	480	-
10-12月	10.1	9.1	12.9	8.6	-	-	-	-	-	-	-
2021年10月	14.2	13.4	16.6	10.1	10.8	3.6	0.2	10.3	102	148	-
11月	10.7	10.3	11.8	8.6	10.8	10.4	6.5	18.7	48	22	-
12月	5.4	3.9	10.3	7.0	-	-	-	-	-	-	-
1月からの累計	96,333	71,945	24,388	64,563	16,039	58,049	37,048	21,001	-	-	-
前年同期	83,186	62,047	21,140	58,148	12,240	54,078	34,973	19,105	-	-	-
増減量	13,147	9,899	3,248	6,416	3,800	3,971	2,075	1,896	-	-	-
前年同期比	15.8	16.0	15.4	11.0	31.0	7.3	5.9	9.9	-	-	-

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

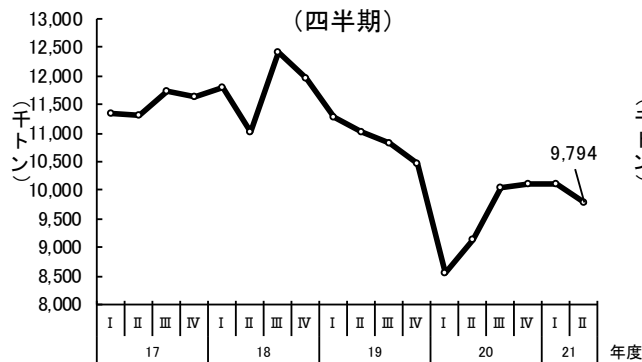
〔図22-1〕粗鋼生産の推移(暦年)



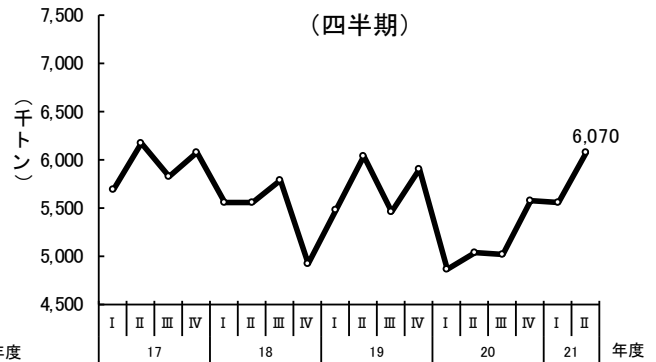
〔図22-2〕普通鋼鋼材需給



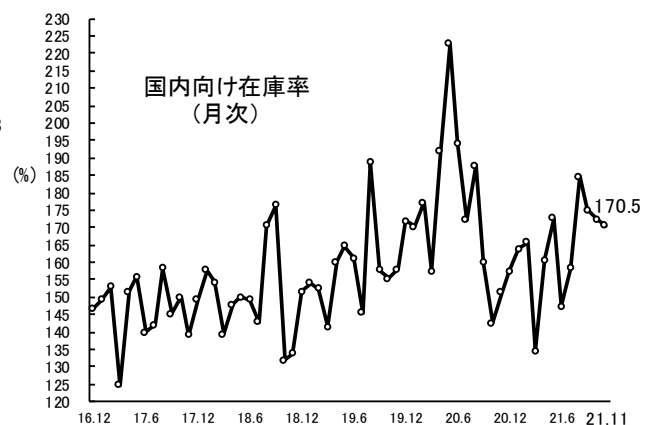
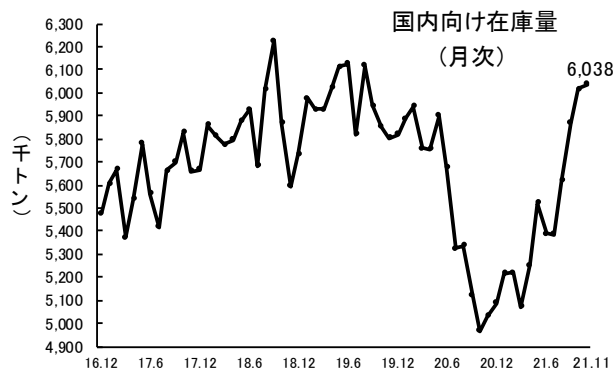
国内向け出荷



輸出向け出荷



国内向け在庫

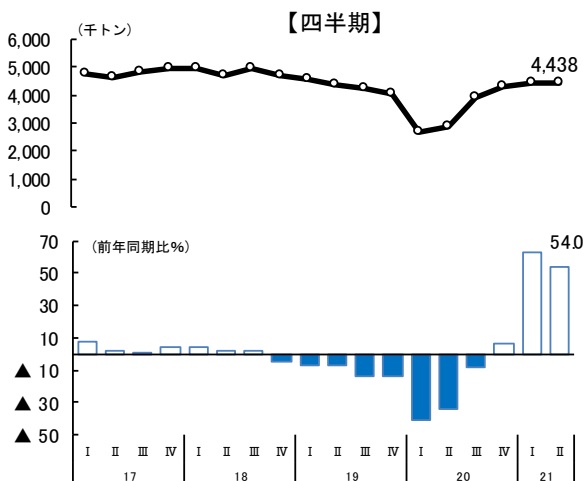


—10月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比10.8%増の141万トンと10ヵ月連続の増加—

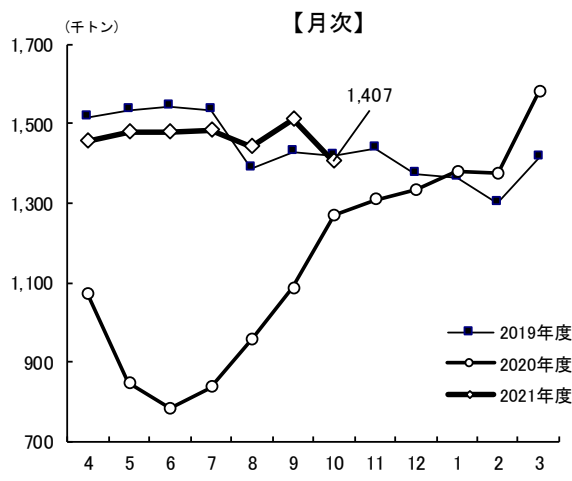
○生産、出荷、在庫動向

- ・10月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比10.8%増の141万トンと10ヵ月連続の増加となった。鋼種別には、ばね鋼（同3.6%減）が減少したものの、工具鋼（同62.5%）、機械構造用炭素鋼（同9.6%増）、構造用合金鋼（同10.7%増）、ステンレス鋼（同0.2%増）、高抗張力鋼（同14.0%増）が増加した。
- ・10月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け（同3.9%増、98万トン・11ヵ月連続）、輸出向け（同35.2%増、44万トン・7ヵ月連続）がともに増加し、合計（同11.9%増、142万トン）では9ヵ月連続の増加となった。
- ・10月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比2.5万トン増加の200万トンとなった。なお、在庫率は9.4ポイント上昇し141.1%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

	生産	出荷		在庫	鋼種別生産							
		計	国内		輸出	在庫率	工具鋼	SC	AL	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2019年度	17,259	16,985	11,836	5,149	1,802	128.2	177	4,409	3,484	372	2,337	4,613
2020年度	13,827	13,760	9,924	3,836	1,722	108.1	141	3,566	2,862	310	1,835	3,608
2020年 7-9月	2,882	2,916	2,142	774	1,605	165.1	28	718	614	66	379	795
10-12月	3,911	3,810	2,846	965	1,670	131.5	35	1,058	807	90	483	990
2021年 1-3月	4,333	4,241	3,048	1,193	1,722	121.8	44	1,163	912	98	518	1,107
4-6月	4,413	4,275	3,049	1,226	1,827	128.2	46	1,193	934	97	536	1,086
7-9月	4,438	4,270	2,999	1,271	1,977	138.9	46	1,203	918	97	585	1,064
2021年 8月	1,442	1,323	924	399	1,989	150.3	15	398	286	29	190	355
9月	1,513	1,501	1,024	476	1,977	131.7	15	396	315	35	214	351
10月	1,407	1,419	979	440	2,002	141.1	19	367	290	27	162	371
2019年度	▲10.6	▲11.3	▲10.7	▲12.6	53	-	▲15.3	▲15.2	▲11.1	▲13.9	▲7.6	▲4.2
2020年度	▲19.9	▲19.0	▲16.2	▲25.5	79	-	▲20.0	▲19.1	▲17.9	▲16.7	▲21.5	▲21.8
2020年 7-9月	▲33.8	▲33.0	▲28.0	▲43.8	129	-	▲33.7	▲35.5	▲30.3	▲27.2	▲34.3	▲32.4
10-12月	▲7.6	▲8.5	▲3.1	▲21.5	65	-	▲20.1	▲2.2	▲5.2	▲1.7	▲17.2	▲13.3
2021年 1-3月	6.2	4.3	9.2	▲6.4	52	-	8.1	15.6	14.0	18.1	▲13.2	▲2.1
4-6月	63.4	53.1	61.5	35.6	105	-	36.8	90.0	76.5	72.9	17.8	51.8
7-9月	54.0	46.4	40.0	64.2	149	-	64.0	67.7	49.6	47.1	54.1	33.7
2021年 8月	50.6	42.1	34.9	62.2	125	-	53.4	68.6	46.7	29.7	52.4	26.0
9月	39.2	38.8	26.4	75.6	12	-	42.5	42.9	31.5	28.7	69.6	17.8
10月	10.8	11.9	3.9	35.2	26	-	62.5	9.6	10.7	▲3.6	0.2	14.0
4月からの累計	10,257	9,963	7,026	2,937	-	-	112	2,763	2,143	221	1,283	2,521
前年同期	6,852	6,976	4,972	2,004	-	-	74	1,680	1,405	150	996	1,837
増減量	3,405	2,987	2,054	933	-	-	38	1,083	738	71	287	684
前年同期比	49.7	42.8	41.3	46.6	-	-	51.2	64.4	52.5	47.2	28.8	37.2

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟

(注) 1. 在庫は前月(期)末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

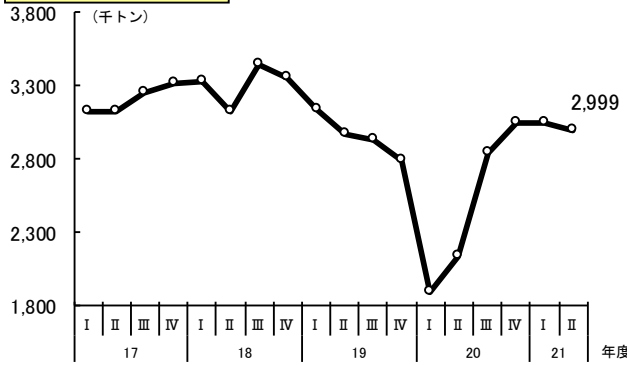
3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計(最終鋼材)において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

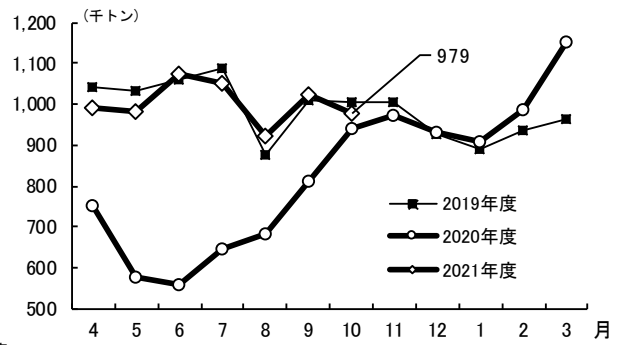
〔図25〕特殊鋼鋼材需給

国内向け出荷

【四半期】

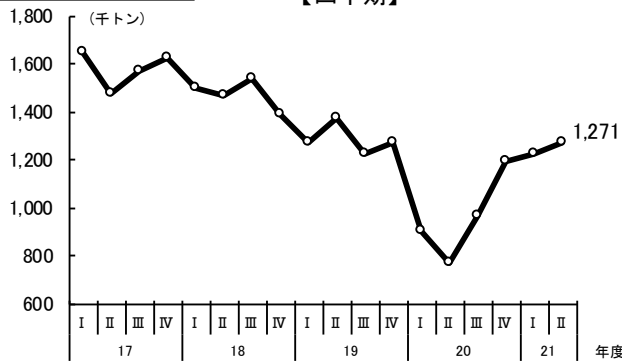


【月次】

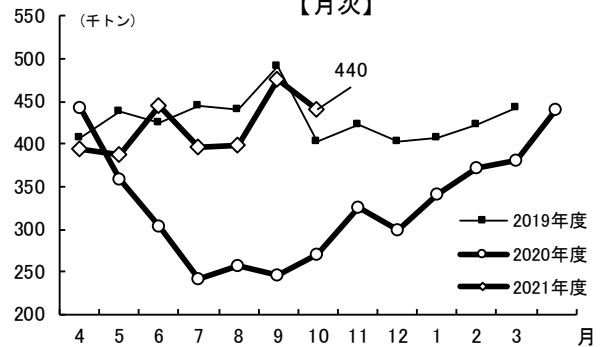


輸出向け出荷

【四半期】

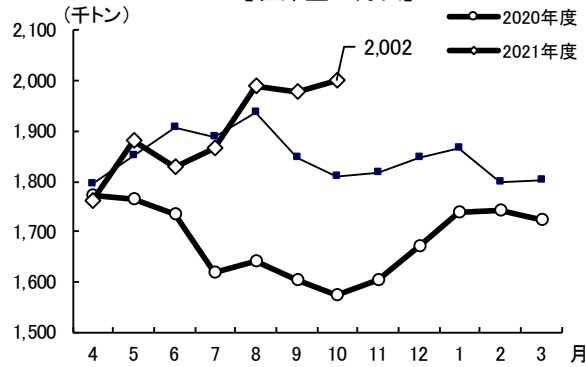


【月次】

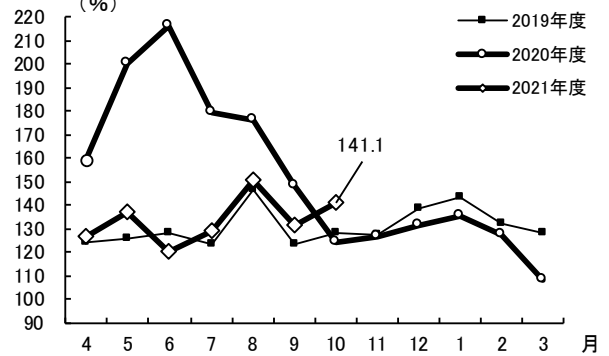


鋼材在庫

【在庫量/月次】

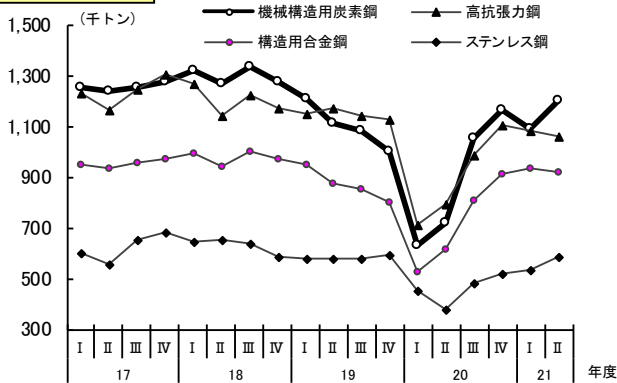


【在庫率/月次】

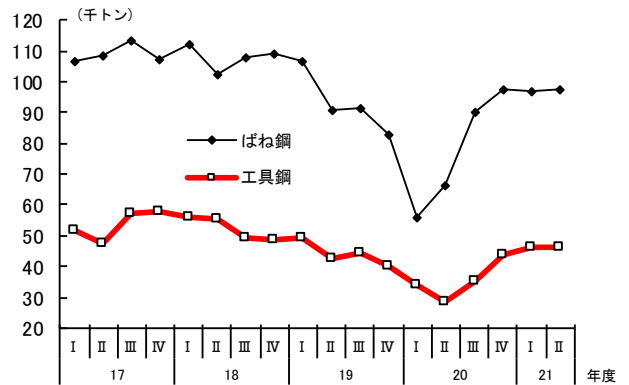


鋼種別生産

【四半期】



【四半期】



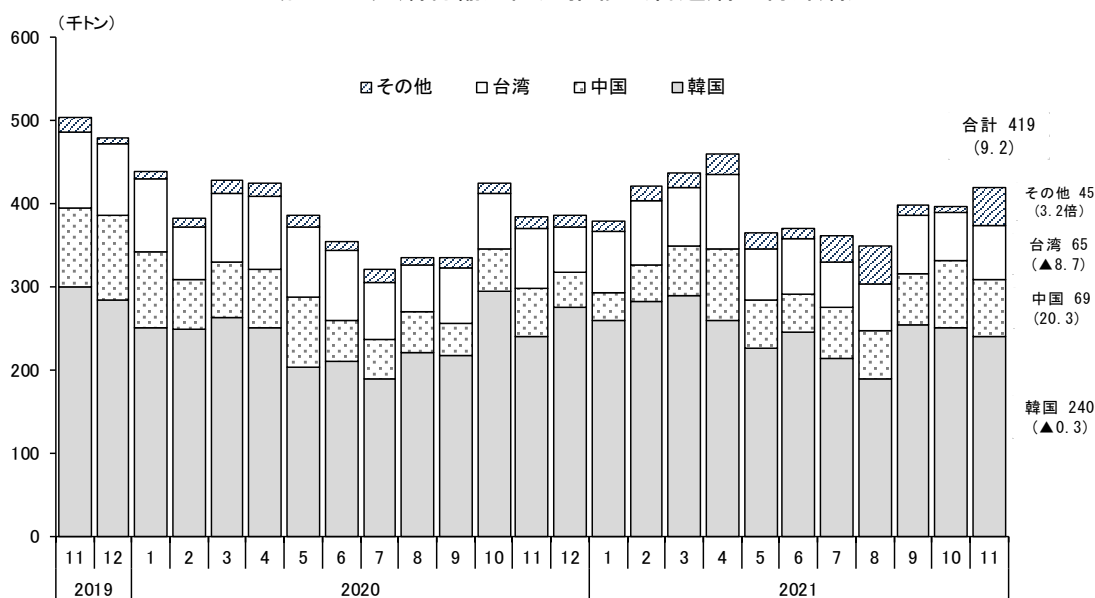
5. 鋼材輸入、鋼材流通

—11月の鋼材輸入は42万トン、前年同月比9.2%増と2ヵ月ぶりの増加—

○ 11月の鋼材輸入の動向

- 11月の鋼材輸入（普通鋼+特殊鋼）は、前年同月比9.2%増の42万トンと2ヵ月ぶりの増加となった。
- 国別では、中国（20.3%増・5ヵ月連続）が増加したが、韓国（0.3%減・2ヵ月連続）、台湾（8.7%減・2ヵ月連続）が減少した。
- 鋼種別では、普通鋼（16.2%増）が2ヵ月ぶりの増加、特殊鋼（30.5%減）は2ヵ月ぶりの減少となった。特殊鋼のうちステンレス鋼（23.6%増）は7ヵ月連続して増加した一方、その他合金鋼（54.1%減）では5ヵ月連続の減少となった。

〔図26〕 鋼材輸入国別推移（普通鋼+特殊鋼）



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。()は前年同月比。

〔表9〕 普通鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

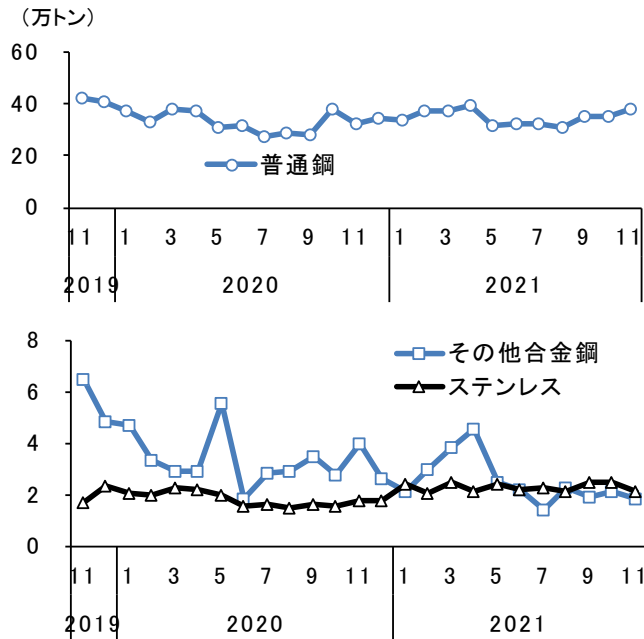
	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国別			
		合計	線材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜鉛めっき鋼板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2019年度	5,393	4,659	291	454	1,482	891	999	542	3,008	907	599	144
2020年度	4,589	3,988	251	522	1,234	715	812	453	2,688	812	358	130
2020年 7-9月	992	853	60	114	267	146	160	106	566	179	80	29
10-12月	1,194	1,050	52	160	312	180	218	128	760	182	76	32
2021年 1-3月	1,239	1,080	64	140	338	205	228	105	765	206	68	41
4-6月	1,196	1,037	63	111	294	239	224	105	668	202	118	49
7-9月	1,110	986	93	99	279	228	190	97	600	164	141	81
2021年 9月	399	355	11	42	108	85	72	37	233	64	49	9
10月	397	351	10	40	120	76	76	30	230	53	64	5
11月	419	379	48	39	102	73	81	36	222	58	58	41
2019年度	▲1.4	▲0.4	14.5	▲8.1	0.1	▲10.9	11.6	▲1.7	▲0.7	▲5.9	8.5	11.0
2020年度	▲14.9	▲14.4	▲13.5	15.0	▲16.7	▲19.7	▲18.7	▲16.5	▲10.7	▲10.5	▲40.3	▲9.9
2020年 7-9月	▲25.1	▲24.8	▲18.3	2.8	▲24.6	▲34.8	▲31.6	▲23.2	▲24.7	▲13.6	▲41.6	▲27.0
10-12月	▲18.3	▲15.8	▲30.3	33.6	▲23.0	▲28.4	▲13.1	▲12.2	▲5.2	▲28.4	▲51.1	▲9.2
2021年 1-3月	▲0.9	0.2	▲8.9	44.9	▲0.6	5.2	▲10.4	▲13.2	9.3	▲6.7	▲46.8	45.5
4-6月	2.7	3.2	▲15.8	2.4	▲7.1	29.6	9.0	▲7.7	11.9	▲18.0	▲11.7	76.1
7-9月	11.9	15.6	55.9	▲12.9	4.2	55.9	18.6	▲8.0	6.0	▲8.0	76.8	177.9
2021年 9月	18.9	24.8	▲44.2	10.0	26.1	61.4	30.2	12.1	21.2	2.5	139.1	▲1.2
10月	▲6.3	▲7.8	▲23.0	▲38.7	9.5	11.4	▲1.6	▲38.2	▲17.3	▲17.4	107.2	▲46.9
11月	9.2	16.2	117.2	0.6	2.9	19.2	24.2	▲10.1	▲1.5	▲12.0	152.7	238.7
4月からの累計	3,122	2,754	215	288	795	616	572	268	1,720	477	381	176
前年同期	2,964	2,565	170	325	793	460	509	308	1,666	555	267	78
増減量	158	188	45	▲37	2	156	63	▲40	54	▲78	114	98
前年同期比	5.3	7.3	26.2	▲11.3	0.2	33.9	12.4	▲13.0	3.2	▲14.0	42.6	126.5

(出所) 財務省貿易統計

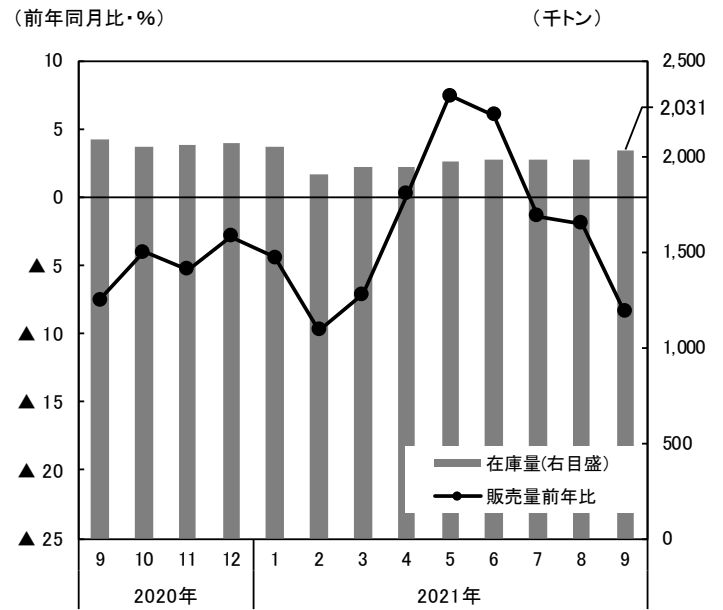
○9月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比では8.4%減の221万トンと3ヵ月連続の減少となった。
- ・ 市中在庫（自社所有分）は、前月末比で3.3万トン増加の203万トンと2ヵ月連続の増加となった。

〔図27〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図28〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表10〕 特殊鋼鋼材輸入

	特殊鋼鋼材輸入									
	合計	ステンレス	その他合金鋼	鋼種別			国別			
				線材	鋼板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2019年度	734	237	498	91	224	182	259	47	392	35
2020年度	601	224	377	64	157	156	254	48	265	34
2020年 7-9月	139	47	92	12	42	37	63	12	55	10
10-12月	144	51	93	17	38	37	53	11	73	6
2021年 1-3月	159	70	89	20	27	43	69	14	69	7
4-6月	160	68	92	19	8	65	64	16	72	8
7-9月	124	68	55	11	3	41	60	14	40	10
2021年 9月	44	25	19	5	2	12	23	5	12	3
10月	46	25	21	3	1	17	22	6	15	2
11月	40	21	18	6	2	11	19	7	11	3
2019年度	▲7.5	▲7.0	▲7.8	▲28.1	0.0	▲3.5	0.7	1.1	▲12.9	▲10.1
2020年度	▲18.1	▲5.1	▲24.3	▲29.9	▲29.7	▲14.7	▲1.9	2.7	▲32.5	▲5.0
2020年 7-9月	▲26.6	▲15.0	▲31.4	▲57.4	▲27.0	▲21.2	6.4	▲3.4	▲49.1	▲8.0
10-12月	▲32.7	▲17.7	▲38.7	▲22.2	▲50.4	▲28.5	▲28.9	▲14.9	▲38.1	▲16.6
2021年 1-3月	▲7.8	11.1	▲18.6	16.4	▲46.5	0.0	8.2	25.4	▲23.4	▲7.5
4-6月	▲0.3	18.2	▲10.6	32.4	▲84.4	69.1	▲8.4	44.6	4.3	▲24.2
7-9月	▲10.9	44.9	▲39.7	▲10.8	▲92.0	10.9	▲4.6	22.2	▲27.3	0.8
2021年 9月	▲13.9	53.2	▲45.3	77.7	▲91.6	▲9.2	▲13.5	43.9	▲28.9	▲2.3
10月	7.0	61.1	▲23.2	▲0.7	▲94.5	42.5	22.3	156.4	▲21.8	▲12.1
11月	▲30.5	23.6	▲54.1	▲36.2	▲91.0	▲17.5	16.2	33.4	▲69.0	101.4
4月からの累計	369	182	187	39	13	134	165	43	138	23
前年同期	399	137	262	39	122	101	167	30	177	24
増減量	▲30	45	▲75	*	▲109	33	▲2	13	▲40	▲1
前年同期比	▲7.5	32.9	▲28.7	0.3	▲89.0	33.2	▲1.2	42.5	▲22.4	▲4.2

(出所) 財務省貿易統計

〔表11〕 鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
30,473	2,280
27,586	1,939
6,906	2,086
7,314	2,065
6,885	1,939
6,765	1,985
6,628	2,031
2,205	2,031
-	-
-	-
▲2.6	▲105
▲9.5	▲341
▲10.2	▲136
▲4.1	▲21
▲7.1	▲125
4.4	45
▲4.0	46
▲8.4	33
-	-
-	-
13,394	-
13,386	-
7	-
0.1	-

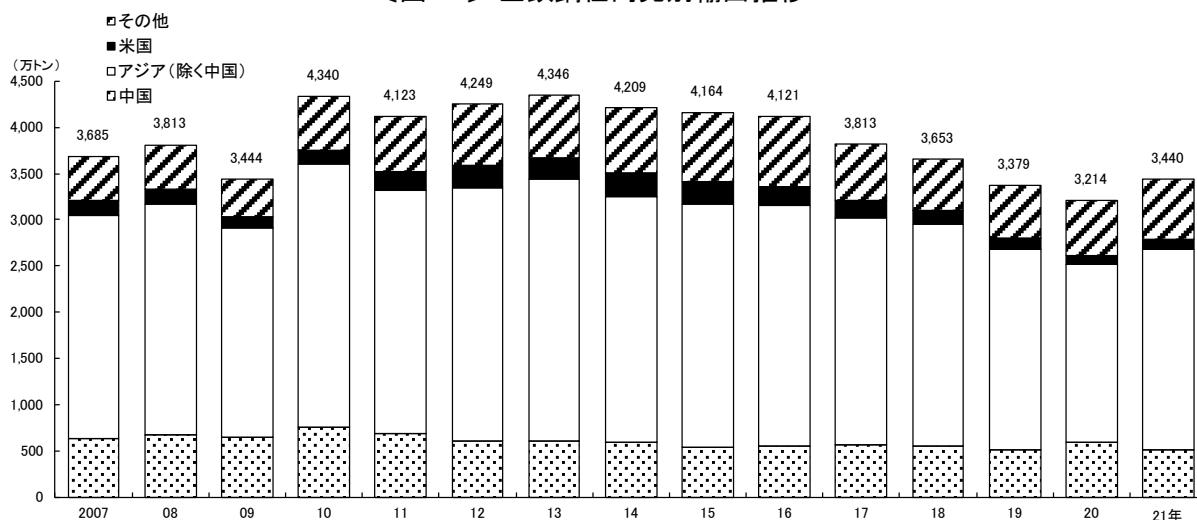
(出所) 日本鉄鋼連盟
(注) 在庫は前月(期)末比

6. 鉄鋼輸出

－12月の全鉄鋼輸出（速報）は前年同月比9.8%増の281万トンと8ヵ月連続の増加、2021暦年（速報）では前年比7.0%増の3,440万トンと8年ぶりの増加－

- 12月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比9.8%増の281万トンと8ヵ月連続の増加となった。仕向け先別にみると、中国向け（0.4%減・8ヵ月連続）が減少したが、米国向け（79.9%増・9ヵ月連続）、韓国向け（8.3%増・7ヵ月連続）、ASEAN向け（12.6%増・9ヵ月連続）が増加した。
- 2021暦年（速報）の全鉄鋼輸出は、前年比7.0%増の3,440万トンと8年ぶりの増加となった。
- 11月の普通鋼輸出は、前年同月比20.1%増の188万トンと7ヵ月連続の増加となった。品種別にみると、厚中板（25.5%増）、熱延鋼板類（27.3%増）、冷延鋼板類（15.1%増）、亜鉛めっき鋼板（22.9%増）が増加した。
- 12月の輸出平均単価（速報）は、全鉄鋼ベースで1,264ドルと前月比で2ヵ月ぶりの上昇となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向け別輸出推移

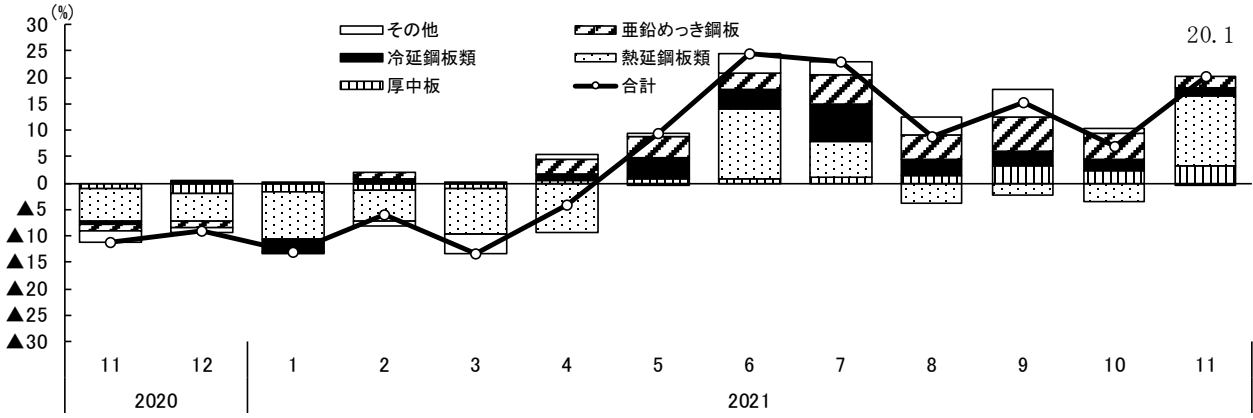


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

	輸出数量(千トン)				金額(FOB)		平均単価			円/ドル 換算レート
	全鉄鋼	鉄鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ドル		千円	
							全鉄鋼	鋼材		
2020暦年	32,136	543	4,074	26,757	26,372	28,232	820.6	823.3	88.1	107.05
P 2021暦年	34,397	-	-	-	37,566	41,236	1,092.1	-	-	109.77
2020年10-12月	7,494	50	829	6,389	6,636	6,950	885.4	880.1	92.2	104.74
2021年1-3月	8,328	12	881	7,221	7,792	8,205	935.6	930.4	98.0	105.29
4-6月	8,612	8	1,008	7,366	8,880	9,708	1,031.2	1,025.4	112.1	109.32
7-9月	8,981	12	904	7,839	10,370	11,418	1,154.7	1,149.0	126.5	110.10
P10-12月	8,477	-	-	-	10,523	11,905	1,241.4	-	-	113.13
2021年10月	2,784	3	239	2,461	3,473	3,871	1,247.4	1,240.3	138.3	111.47
11月	2,883	3	323	2,485	3,499	3,987	1,213.7	1,207.1	137.5	113.95
P 12月	2,810	-	-	-	3,552	4,047	1,263.9	-	-	113.95
2020暦年	▲4.9	1,098.3	16.6	▲8.7	▲14.7	▲16.2	▲10.3	▲9.4	▲11.0	▲1.8
2021暦年	7.0	-	-	-	42.4	46.1	33.1	-	-	2.5
2020年10-12月	▲10.2	157.3	▲7.2	▲11.3	▲12.1	▲15.1	▲2.1	▲1.8	▲5.2	▲3.5
2021年1-3月	▲10.5	▲77.8	▲24.5	▲8.4	0.4	▲2.8	12.2	11.8	8.2	▲3.2
4-6月	10.9	▲96.8	▲7.4	17.6	43.8	45.7	29.7	26.9	28.6	1.4
7-9月	18.6	▲93.8	▲8.7	26.0	78.7	84.8	50.7	49.2	54.3	3.4
10-12月	13.1	-	-	-	58.6	71.3	40.2	-	-	8.0
2021年10月	11.4	▲88.7	6.1	13.3	61.3	70.5	44.9	44.2	52.4	5.6
11月	18.3	▲81.1	11.0	21.0	64.3	78.9	38.9	39.5	51.9	8.9
12月	9.8	-	-	-	50.9	65.1	37.4	-	-	9.4
4月からの累計	26,069	26	2,474	20,151	29,774	33,031	1,142.1	1,121.3	123.9	-
前年同期	22,831	483	2,596	16,711	18,614	19,790	815.3	925.4	98.4	-
増減量	3,238	▲458	▲122	3,440	11,160	13,242	326.8	195.9	25.6	-
前年同期比	14.2	▲94.7	▲4.7	20.6	60.0	66.9	40.1	21.2	26.0	-

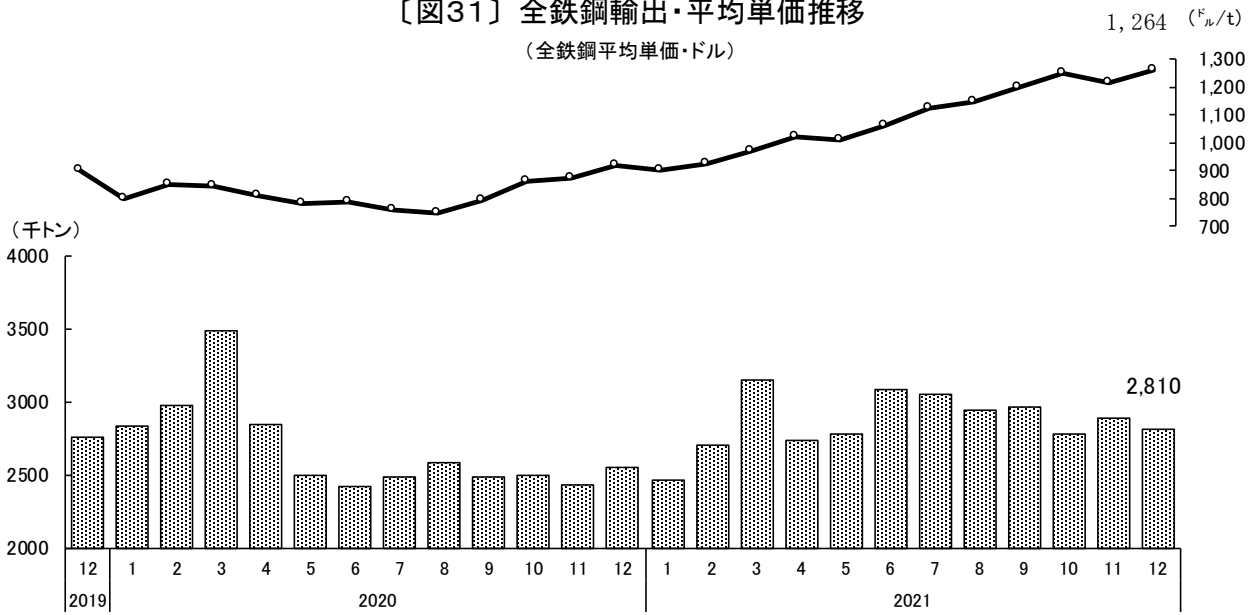
(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移

(全鉄鋼平均単価・ドル)



〔表13〕 国別品種別輸出推移

(単位: 千トン, %)

	全鉄鋼計								普通鋼鋼材計				
	米国	アジア	韓国	中国	ASEAN10	台湾	香港	インド	厚中板	熱延鋼板類	冷延鋼板類	垂鉛めっき鋼板	
2020暦年	890	25,201	4,809	5,863	9,782	2,449	221	599	20,924	2,512	10,901	1,716	1,935
P 2021暦年	1,171	26,778	4,897	5,123	12,115	-	-	-	-	-	-	-	-
2020年10-12月	195	5,905	1,040	1,282	2,490	520	58	183	4,879	580	2,456	443	477
2021年 1-3月	262	6,474	1,019	1,231	3,096	570	47	204	5,383	580	2,680	530	634
4-6月	315	6,604	1,107	1,379	2,966	631	61	188	5,415	675	2,553	512	652
7-9月	265	7,016	1,408	1,297	3,100	631	71	184	5,820	729	2,774	554	643
P10-12月	329	6,683	1,363	1,215	2,953	-	-	-	-	-	-	-	-
2021年 10月	124	2,210	479	405	946	122	26	70	1,800	218	841	166	225
11月	88	2,365	513	419	1,042	210	24	44	1,879	248	961	182	200
P 12月	117	2,108	371	392	965	-	-	-	-	-	-	-	-
2020暦年	▲30.5	▲6.0	▲11.0	14.5	▲15.0	8.5	10.2	▲50.4	▲5.9	▲4.7	1.9	▲19.3	▲16.0
2021暦年	31.6	6.3	1.8	▲12.6	23.8	-	-	-	-	-	-	-	-
2020年10-12月	▲23.7	▲10.2	▲18.9	▲7.4	▲12.1	▲15.9	33.7	▲0.9	▲10.0	▲19.1	▲9.1	▲5.4	▲16.2
2021年 1-3月	1.6	▲8.9	▲28.9	▲0.9	1.0	▲14.8	▲2.9	1.6	▲11.0	▲12.7	▲15.0	▲6.0	5.1
4-6月	32.2	8.1	▲12.7	▲5.7	33.5	▲8.2	10.8	66.0	9.2	6.3	1.2	37.8	33.8
7-9月	33.6	15.3	31.9	▲30.9	54.5	10.5	20.3	80.7	15.5	15.2	0.2	63.9	75.1
10-12月	68.7	13.2	31.1	▲5.2	18.6	-	-	-	-	-	-	-	-
2021年 10月	73.8	11.3	33.2	▲13.2	21.7	▲36.2	40.9	9.3	6.8	22.5	▲6.8	27.1	57.6
11月	50.0	21.0	52.1	▲0.8	21.8	25.2	16.3	▲14.5	20.1	25.5	27.3	15.1	22.9
12月	79.9	7.3	8.3	▲0.4	12.6	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	909	20,304	3,878	3,892	9,019	1,595	182	485	14,914	1,870	7,129	1,414	1,720
前年同期	631	18,096	3,375	4,620	6,718	1,618	153	330	13,247	1,643	6,951	998	1,160
増減量	277	2,208	503	▲728	2,301	▲23	29	155	1,667	227	179	416	560
前年同期比	43.9	12.2	14.9	▲15.8	34.2	▲1.4	18.8	47.0	12.6	13.8	2.6	41.7	48.3

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

7. 海外市場 —11月の世界の粗鋼生産は前年同月比9.9%減—

1. 概況

世界的なオミクロン株の急速な感染拡大が一部の国での行動制限や先行き不透明感の高まりに繋がり、中国や欧米をはじめ景気回復ペースの鈍化の一因となっている。多くの国が経済活動と新型コロナ感染拡大抑制の両立を継続する状況下、一部地域・国ではインフレ対策も相俟って一層困難な調整を迫られている。世界経済の下押し要因となり続けている供給制約には一部で緩和が窺われているものの解消には時間を要するとみられるほか、物流やエネルギー価格など各種コストも高止まりが続いている。

11月の世界の粗鋼生産(推計含む)は、中国が大幅減となったこともあり、前年同月比9.9%減の1億4,326万トンと4ヵ月連続で前年比マイナスとなった。なお、中国を除いたベースでは同5.4%増と9ヵ月連続で前年比増となっている。

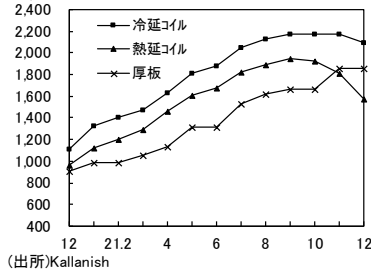
〔表14〕主要国の粗鋼生産

(単位: 100万MT、%)

	2021年11月	前年同月比	2021年1~11月	前年同期比
日本	8.0	10.7	88.4	16.8
中国	69.3	▲22.0	946.4	▲2.6
韓国	5.9	2.9	64.6	5.4
台湾	1.9	6.8	21.1	10.8
インド	9.8	2.5	106.6	18.5
米国	7.2	13.8	78.8	18.9
ブラジル	3.1	2.5	33.4	17.4
EU27	12.9	3.7	141.4	17.0
ロシア	6.5	9.4	65.1	7.1
世界計	143.3	▲9.9	1,752.5	4.5

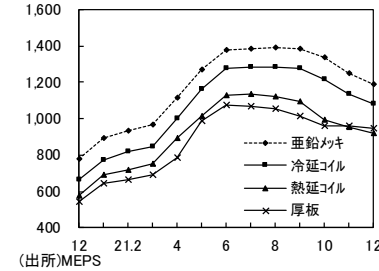
(出所) worldsteel 等 (注) 米国のみ本文ではネットトベースのため、上記表中の値とは一致しない。

〔図32〕北米市況



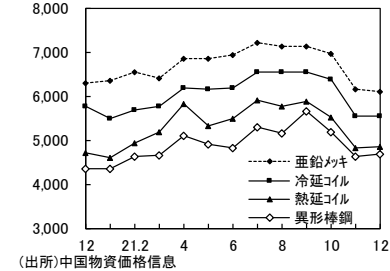
(出所) Kallanish

〔図33〕欧州市況



(出所) MEPS

〔図34〕中国市況

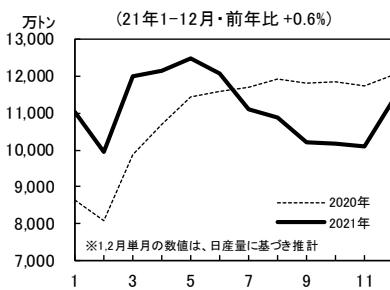


(出所) 中国物資価格情報

2. 主要国の鉄鋼需給動向

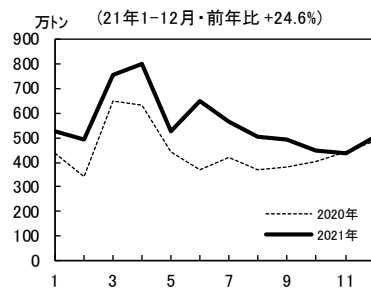
○中国 外需は好調も内需は不動産投資不安、新型コロナに伴うロックダウンの影響もあり減速傾向。自動車生産、販売は7ヵ月連続の前年比減ながら回復基調。鉄鋼需給をみると、12月の粗鋼生産は前年比6.8%減の8,619万トンと6ヵ月連続の前年割れも、6,000万トン台となった前月からは4ヵ月ぶりに8,000万トン台に増加。21年通年では前年比3.0%減の10億3,279万トンと、工信部による通年で前年比減との目標を達成し、15年以来の前年割れ。12月の鋼材輸出は前年比3.6%増の503万トン、2ヵ月ぶりの増加。21年通年では前年比24.6%増の6,690万トンと、直近では2018年(6,934万トン)に次ぐ水準。

〔図35〕鋼材生産

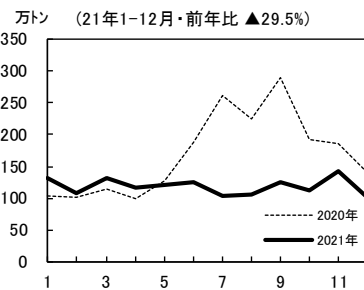


(注) 全て速報ベース、輸出入は半製品を除く
(出所) 中国国家统计局および中国海関総署

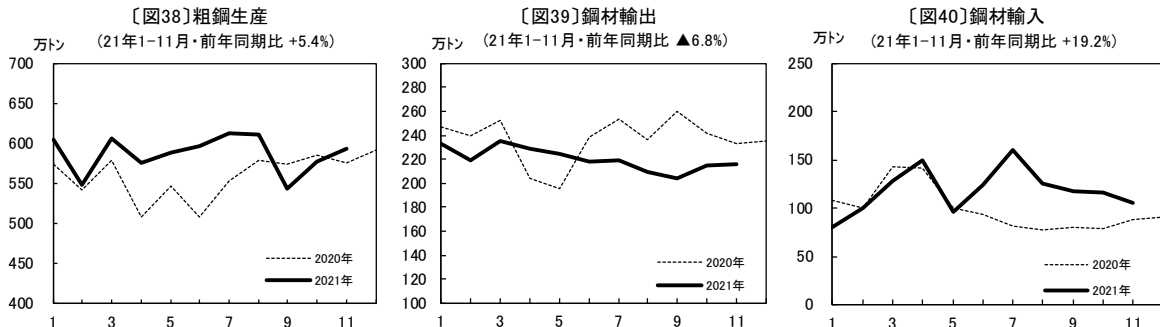
〔図36〕鋼材輸出



〔図37〕鋼材輸入

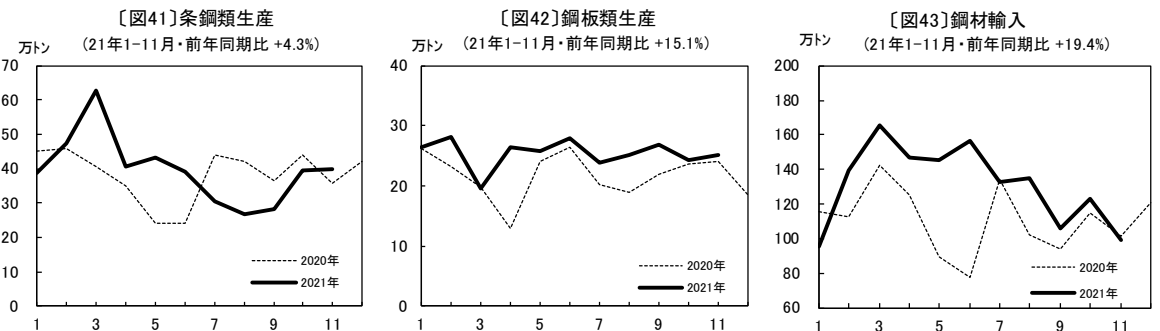


○韓国 12月に急増した感染者数は足元減少傾向にあるものの、12月の消費者物価指数が前年同月比3.7%増と引き続きインフレ目標(2.0%増)を大きく上回るなど、インフレ・感染状況を巡る先行き不透明感が拭えない。11月の自動車生産は前年同月比6.6%減の30.3万台、国内販売は同13.9%減の12.4万台、輸出も同6.5%減の17.6万台といずれも前年を下回ったものの、減少幅は縮小している。鉄鋼需給をみると、韓国鉄鋼協会発表の11月の粗鋼生産は前年同月比2.9%増の593万トンと3ヵ月ぶりの前年比増となった。同月の鋼材輸出は前年同月比7.4%減の216万トンと6ヵ月連続の前年比減、鋼材輸入は同19.2%増の105万トンと6ヵ月連続の前年比増となった。



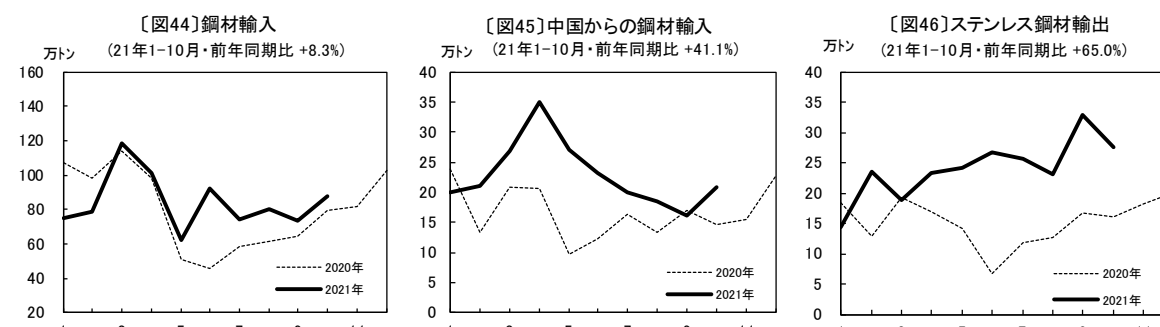
(出所) 韓国鉄鋼協会、韓国通関統計

○タイ 感染動向改善が進むなか輸出環境好転、投資改善等により景気は回復基調にある。一方で、足元ではオミクロン株の感染拡大の影響が観光業に波及することでの経済の下振れ懸念が高まっている。11月の自動車生産は前年同月比4.1%減の16.5万台と前年割れながら、生産水準は回復傾向。鋼材需給をみると、11月の鋼材見掛消費は前年同月比0.9%増の136万トンと前年比プラスを維持したものの、年初来最低水準となった。11月の鋼材輸入(含む半製品)は、鋼板類の大幅減で前年同月比2.8%減の99万トンとなり、10ヵ月ぶりの100万トン割れとなった。



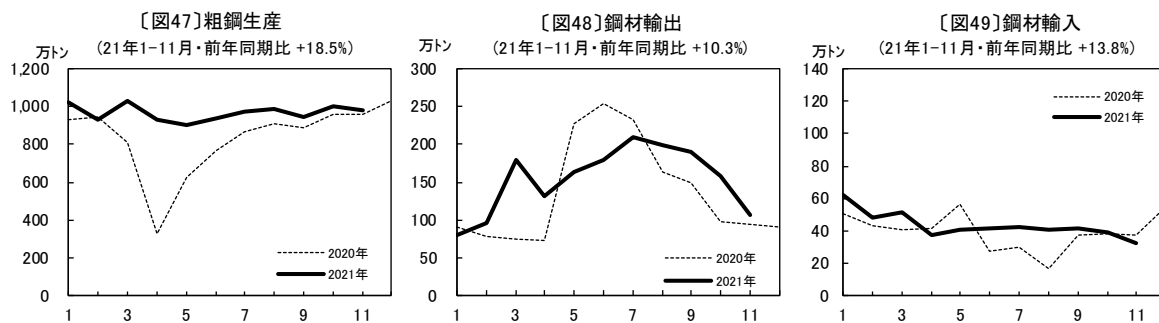
(出所)タイ鉄鋼協会、通関統計

○インドネシア 行動制限緩和、感染動向改善が進み経済は底入れから回復に向けた動きが強まるなか、インドネシア中銀は、景気下支えのため今年上期は低金利政策を維持する意向を示唆。11月の自動車生産は前年同月比53.2%増の11.1万台とパンデミック以降では最高となり、販売もパンデミック前水準への回復を示した。鉄鋼貿易をみると、10月の輸入は前年同月比10.0%増の88万トンと8ヵ月連続の前年比増。高水準が続く輸出は同66.1%増の88万トンと大幅増、19ヵ月連続で前年比増。うちステンレス鋼材は半数以上を占める中国が同2.2倍増となったこともあり、高水準を維持した。



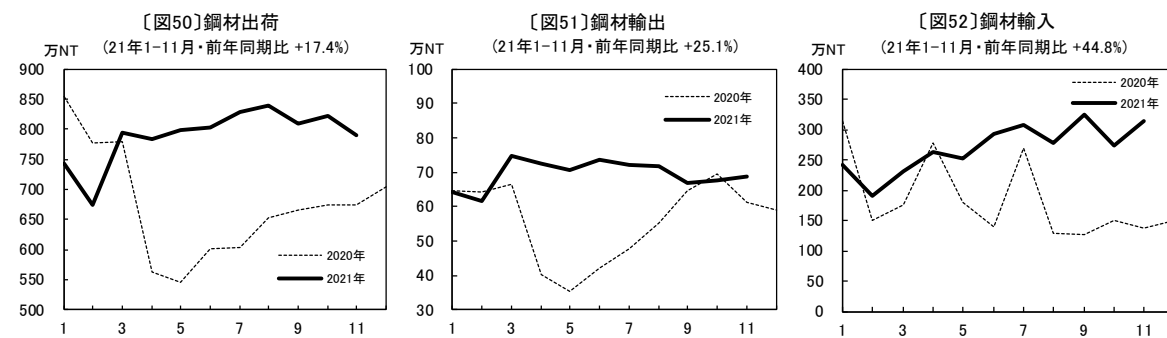
(出所)GTA

○インド 感染再拡大もあり12月の総合PMI(購買担当者景気指数)は、製造業、サービス業ともに低下し、前月比2.8ポイント低下の56.4ポイントと3ヵ月ぶりに低下した。鉄鋼需要産業では、半導体不足による生産減の影響により11月の乗用車販売が前年同月比18.6%減の22万台となり、祭事商戦の時期にもかかわらず同月としては過去7年で最低となった。鉄鋼需給をみると、11月の粗鋼生産は前年同月比2.2%増の983万トンと9ヵ月連続で前年比増となった。11月の鋼材貿易は、輸出が同13.7%増の107万トンと4ヵ月連続で前年比プラス・二桁増を維持したものの、8月以降鈍化傾向を辿っている。輸入は同12.8%減の32万トンと6ヵ月ぶりの前年比減、数量は年初来最低となった。



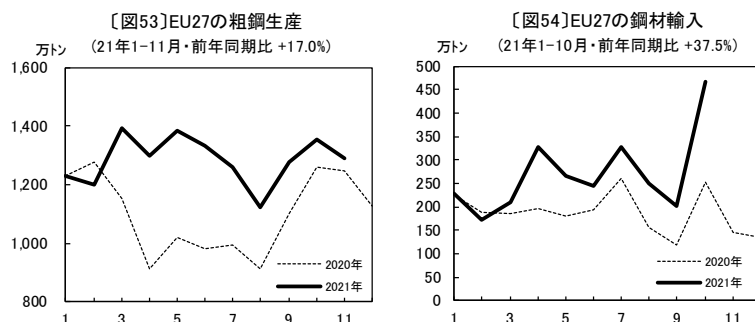
(注) 輸出入は半製品を含む
(出所) Joint Plant Committee

○米国 12月の消費者物価指数(前年同月比7.0%増)が1982年6月以来の高水準となるなどインフレが継続するほか、オミクロン株の広がりにより1月に入り新規感染者数が過去最多を記録しており、消費・雇用回復の下振れも懸念される。鉄鋼需要産業をみると、12月の自動車販売は前年同月比25.6%減の119万台、21年通年では1,493万台と前年(1,447万台)は上回ったものの感染拡大前の水準(2019年1,709万台)を大きく下回った。鉄鋼需給をみると、11月の粗鋼生産は前年同月比13.8%増の791万ネットトンと9ヵ月連続で増加し、同月の鋼材輸入は同2.3倍の315万ネットトンと7ヵ月連続で前年を上回った。



(出所) 米国鉄鋼協会、通関統計

○欧州 12月のユーロ圏総合PMI(購買担当者景気指数)は、前月比2.0ポイント低下の53.4ポイントと2ヵ月ぶりに低下するなど、感染再拡大やオミクロン株の拡大抑制に向けた各国の行動制限により、サービス業を中心に景況感が再び悪化している。鉄鋼需要産業をみると、引き続き半導体不足が自動車産業に影響しており、11月の域内新車登録は前年同月比20.5%減の71万台と5ヵ月連続の前年比二桁減となった。鉄鋼需給をみると、EUの11月の粗鋼生産は前年同月比3.7%増の1,292万トンと9ヵ月連続で前年を上回った。10月のEUの鋼材貿易(域外)は、輸出が同20.3%減の149万トンと4ヵ月連続の前年割れと低水準で推移している。他方、輸入は同83.7%増の467万トンと8ヵ月連続の前年比増・二桁増、月間過去最高を更新し、初の400万トン乗せとなった。



(出所) worldsteel、欧州鉄鋼協会